京城日報
天長節
朝刊　本日朝夕刊共八頁

豪壯！蘭印作戰の全貌

○○參謀　實戰談話

社說　奉祝天長節

陽光燦として大東亞の天地に輝き、薰風、瑞枝に和し、御稜威の下、大東亞戰爭の赫々たる大戰果によ[illegible]世界再建は、今や帝國の指導下に着々と進められ、大東亞の前途洋々として、希望と光明に滿ちたるけふ、こゝに天長の佳節を迎へ　聖壽の萬歲を奉頌し奉り、聖業翼贊を誓ひ得るは一億國民の無上の光榮とするところである。

陛下には寶算滿四十一の御誕辰を迎へさせられ、玉體彌〻御健かに、天資の英邁はいよ〳〵明を加へさせ給ひ、聖德ますます高く、萬機を總攬し給ふは、萬民の欽仰し奉るところである。

支那事變勃發以來、長くも　天皇陛下には夜間と雖も軍務に政務に御精勵、また第一線將兵の上に將又戰歿將兵、傷痍軍人、遺家族、更に國民生活の上に大御心を垂れさせ給ふと拜承するは畏き極みである。嚢には地方長官會議に列席したる慶北高尾、咸北大野、全南武永の三知事に對し、半島民衆に就いて畏くも御下問を賜ひたる、一視同仁の御仁慈、聖德の宏大無邊なるを仰ぎ奉り、二千四百萬民草はたゞ地に伏して讃仰し奉つたのである。

昨年十二月八日、米英に對し宣戰の大詔を渙發あらせられ八紘一宇の大理想顯現の方途を昭示し給ふ。帝國の雄渾なる大東亞經綸、大作戰はこゝに發せられ、陸に海に空にあがる大戰果は世界を驚倒せしめてゐるのであつて、御稜威の下、勝利は常にわれにあるを確信する次第である。

大東亞戰爭第一次戰勝祝賀日には、長くも御愛馬白雪に召させ給ひ、國民の奉祝にこたへさせ給ひたる、この光榮、この感激、われら國民はこの聖代、この日に生を享け、大東亞建設の大業に勇奮邁進し得る光榮に思を致し、無上の歡喜と不退轉の決意、必勝の信念を以て皇謨を翼贊し奉るを誓ふ次第である。

孫將軍、畑總司令官訪問

【南京廿八日同盟】新任第二方面軍總司令官孫良誠氏は、廿八日午後二時總司令部に畑總司令官を訪問、就任挨拶をかね和平建設の決意を披瀝するとともに今後の指導を[illegible]

三谷駐佛大使信任狀捧呈

【ビシー廿七日同盟】新任駐佛大使三谷隆信氏は廿七日ラバール首相陪立のもとにペタン主席に對し信任狀を捧呈した

戰史無比・大渡洋作戰

決然、敵中を征く大船團

【東京電話】蘭印攻略の大渡洋作戰に大本營派遣幕僚として攻略軍とともに輸送船團に乘じてジャバに敵前上陸を敢行、作戰の全期間を通じ攻略軍と行動を共にした○○參謀はこのほど歸京、廿八日陸軍省に於て記者團と會見、蘭印作戰の特質、航空基地攻略の冒險作戰、ジャバ大渡洋作戰の決行、バンタム沖の激戰、上陸後の苦難なる猛進擊、敵軍降伏などの狀況につき生々しい實戰談を試みたが、殊にジャバの敵前上陸に當つては蘭印方面軍司令官今村均中將搭乘船に敵彈命中軍司令官以下幕僚なども海中に投げ出され軍司令官が海上に廿分間も漂うてゐた當時の激戰の狀況がはじめて明かにされた、同參謀の語つた蘭印作戰の全貌は次の如くである

大東亞の將來を一變せしめたシンガポール攻略の大激戰の際にも、派遣幕僚として參加した私はパーシバル將軍降伏の翌十六日陷落直後の市內[illegible]、その日の中にテンガー飛行場から○○に歸つて、[illegible]ジャバ攻略戰、輸送船團の待機地點に向ひ、それからジャバ作戰の全期間を通じて攻略軍と行動をともにした、なほこの邊の事情を研究し南方作戰を見、大南方地域を考へるものは先づ大きさと距離の觀念を頭に入れることである、現在の南方における航空機と艦船の航續距離から考へると、蘭印作戰はとてつもない化物みたいやうな長距離渡洋作戰である、私はかねてより南方作戰準備の末席を汚してゐたが、何回圖上研究をやつて見ても、ジャバ攻略になると思ふやうに戰況が進まない『距離は武器である』といふのは兵學上の眞理な原理であるが、最後まで距離に惱まされたのである、次に大東亞『南方作戰は油を取るための作戰である』、日本が南方に[illegible]するのは結局油が欲しいからではないか』といふやうな目先の現狀に[illegible]

このジャバをめぐる問題狀況の理解からしてジャバ攻略戰の困難性が來るのであり、また主戰鬪目標たる敵地ジャバには無數の飛行場があり、わが軍が苦心慘憺して外部における數少い飛行場を占取しても、ジャバまでの距離が遠い上に飛行場には、修理工場もなければ燃料もない。上陸作戰といふものは敵の海上兵力を擊滅し、敵の航空兵力を擊破したのち陸兵を乘せた輸送船團が海軍艦艇に護衛せられ、[illegible]しながら實行されるのが定石である、それなのにジャバにある敵航空兵力を叩くに、利用すべき飛行場としては、[illegible]ボルネオ東南端のバンジエルマシンと、セレベスのマカッサル、ケンダリー、スマトラのパレンバン、南へ下つてタンジヨンカランで何れもジャバの中樞から遠く出來な飛行場である。如何に出來とはいへこれらの飛行場を取らねばジャバ攻略は出來ぬ、ところがこれらの飛行場を取りに行くには困難な條件に充たされてゐた、その上に飛行場を取つたら直ぐこれを整備せねばならぬ、これに加ふるに直ちに危險な海面を突つてわが航空部隊が活動の必須條件であるところの燃料と彈藥とを送り屆けねばならぬ

偉勳、九州健兒

航空基地奪取のため作戰開始後間もなく比島南端ミンダナオの要域ダバオに上陸した一兵團は坂口兵團で九州の健兒部隊だ、この部隊は間もなく二段跳びして西方ボルネオ島をとつた、ついで[illegible]のち三段跳びして石油の島のタラカンにジャングルを押し分け上陸して[illegible]を押へ、敵守備隊を降伏せしめた、もう戰力が盡きたかと心配したが、さらに四段跳びして遠くボルネオ東部の要衝バリックパパンに上陸して[illegible]飛行場を取りながら、[illegible]上陸作戰をやつて來た、この部隊の最後の目標はバンジエルマシンであつたが、ところがバンジエルマシンの海はスラバヤ沖合まで極めて淺く大きな艦艇は航行危險である、そこで思ひ切つてバリックパパンからバンジエルマシンまで舟艇で行くことにした、[illegible]海軍と艦艇の協力下、何日かゝつて小さなボートの集團が未知のジャングル海岸を辿れ辿れて行くのである、[illegible]、私はかつてこの地を旅行したが、海岸一帶ジャングルでおまけに一面泥の海岸で何處がバンジエルやら判らなかつた

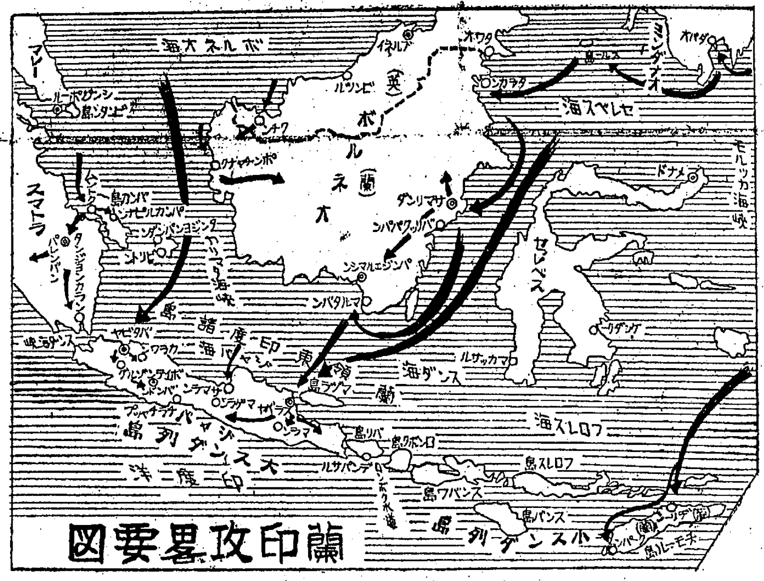
死なば諸共に

陣頭に立つ軍司令官

この計畫を聞いたとき私はぞつとするとゝもに第一線部隊指揮官の責任感の強さに思はず涙を流した、坂口部隊の部隊を成功の場合に備ふるためにさらに一隊はバリックパパンとバンジエルマシンの間を陸路進擊した、この計畫を聞いたときも、[illegible]兩地の間には道がないのである、どうして行軍するのかと思つた、しかしこれら兩部隊は豫定の苦勞の上豫定よりも早く目的地を占領した、この苦勞はクチンを占領した川口兵團がボルネオ西南端ポンチヤナクとレドの飛行場をとりに行つたとき、同じく繰げられた空前な[illegible]にも比すべきものであつた、パレンバンはシンガポール陷落の前日精銳なわがパラシユートの戰士によつて手中に歸した、この部隊に[illegible]○○部隊は直ちに南下してスマトラの南端タンジヨンカランの飛行場をとつた、次にバリ島は英米蘭印[illegible]の空軍基地でそのために立派な飛行場さへ作られてゐた、これをとればジャバ航空の制壓には[illegible]、もし敵の妨害が[illegible]出來れば上陸兵團の航行と上陸に至大の貢獻をすることは明かである、ところがなんといつてもこの島はスラバヤ、スマランといふ敵本據の目の下にあり、これをぬつと手を延べて頂戴するのは冒險中の冒險である、しかし必要の前には致し方はない、敢然たる用兵のもとに決行された『斷じて行へば鬼神も避く』[illegible]一部隊がバリ島を占領したのである、最後にチモール、こゝは濠洲から蘭印に飛ぶためのステーションたる飛行場だ、これを[illegible]これを奪取したのはさきに東印度の要衝アンボイナに上陸して[illegible]部隊だ、[illegible]

以上でジャバ攻略のためにとるべき飛行基地は全部とつた、[illegible]もうジャバは足をもがれた蟹のやうだと思つたであらう間もなくジャバ沖の海戰があり、敵の[illegible]が擊沈せられたと發表されたから一層この感を強くしたことは無理もない、しかし私は當時○○にあつてこの作戰の當初よりの計畫を擔當者として[illegible]

[illegible]



蘭印攻略要図

けふ大東亞戰下 初の天長の佳節

東亞十億あげて壽ぎ奉る！

【東京電話】君が代は千代に八千代と東亞十億がけふ壽ぎ奉る大東亞戰下初の天長の佳節廿九日、畏くも　天皇陛下には御日出度く第四十一回の御誕辰を迎へさせられた、第一次戰捷祝賀に拜し奉つた二重橋上御馬上の御英姿を今また心頭に仰ぎ奉り[illegible]

[illegible]

大元帥陛下親臨

けふ輝く天長節觀兵式

【東京電話】聖壽の無窮を壽ぎ奉る天長節觀兵式はけふ廿九日[illegible]

[illegible]

諸案件大半解決す

鮮滿連絡會議第二日

[illegible]

第一分科會　[illegible]

第二分科會　[illegible]

第三分科會　[illegible]

第四分科會　[illegible]

第五分科會　[illegible]

【二面へ續く】

＝人＝

◇高橋省三氏（日本マグネサイド[illegible]

特許　濕布
高速治療効果を推奨さる　特許藥
[illegible]
東京神田　大木合名會社

車輪　チルド車輪　運搬車　各種　特許
株式會社 岩崎レール商會
東京市京橋區築地四丁目　工場 月島

早稻田大學講義錄
入學締切り
本年春期の講義錄は既に各科とも全部收容人員に達し、今後の申込は一切御斷りの止むなきに至りましたから、惡しからず御諒承下さい。
（今後はたとへ御送金になりましても今期は入學出來ません）
東京牛込　早稻田大學出版部

中央公論
五月號　廿五日發賣　特價九十錢
特輯▼東亞經濟の論理と構造
大東亞經濟建設の原理・中山伊知郎
共榮空間の構成・酒枝義旗
植民政策の新理念・天澤不二郎
☆南方開發形態論・根岸勉治
選擧と選擧後の政局　吉村正・大串兎代夫
戰時下の基礎科學・仁科芳雄
新支那問題の構想・杉村廣藏
☆獨逸の春季攻勢と……　西南亞細亞・平館利雄
英本土上陸作戰　伊藤正德
日本農業の進路・前橋・高倉
半島勞務者の錬成・張赫宙
★國家と人間・和田小次郎
★行爲的人間・船山信一
★世界史的人間・樺俊雄
創作　森大司　三田久保　千洋万　代子
☆工兵山に挑む・高見順
☆戰力論・本橋孝
☆總力戰の構想・小山弘健
實績主義檢討・菱山辰一
音樂文化・土田貞夫
印度獨立問題の將來　芦田英祥・加藤長雄

國防科學雑誌　機械化
定價50錢　送料4錢
機械化國防協會主宰
プロペラの物理　科學　圖解　フタヤのヤイタ　ゴムと彈性
青年兵器特輯
大東亞戰爭報告
大東亞科學戰　平田少佐
少年戰車兵の活躍記　櫛島少將
シンガポール入城のわが戰車部隊
名士の威振八荒子
戰車學校を見學して
模型飛行機工作座談會
兵器知識と工作
流線型無軌道車　原寸大設計圖
祖國の生命　北村小松作
十七號發賣
東京市神田區神保町二ノ一〇
山海堂出版部

戒めよ心の隙
民防空に軍から檄
倉茂報道部長談

空のゲリラ戰は始まり防空陣は一段と強化されたが、これに對し固く誓つた考へを持つてはならぬ、大東亞戰下に初めて迎へる陸軍記念日と天長節を控へ敵機の空襲に益々警戒し防空に全力を擧げて網の目の如き萬全を期するのは寧ろこれからだ、敵に乘じられないやう徹底不動の態勢を整備すべきである、と倉茂報道部長は廿八日次の如き談話を發表し、全鮮民に臨戰の心構へを强調した

【敵の】空襲に對する警戒が何等欲るべきものでないことは先日のアメリカ機の内地空襲に依つて我國民ははつきり理解したことと思ふ、殊に敵へあれば愈ひなしといふ國土防衛の根本原則を徹底に依つて了解し得たことはアメリカの我國への何よりの贈物であり又我國民防空陣の完璧に對し信念の欽を深くしたことは我國家のため慶賀に堪へない所である

【然し】現下の戰局と敵國の動向は新聞やラジオの報道に依つて明かであるやうに敵は敗戰の悪夢に驅られて窮餘の戰法を取らうとし今後あらゆる機會をねらつて我國土空襲を企て神出鬼沒な空中ゲリラ戰や潜水艦に依る海上ゲリラ戰等を行はうとすることが明かである

【殊に】空襲は先日のやうな程度のものであると安心してをつてはならない、もつとひどい空襲を受けることを覺悟しなければならぬ、しかしわが朝鮮の軍防空は既に完備しをるので何ら心配はないが敵に寸分の機會をも與へないことが現下の最大要點である、ところが皇國は昨今天長節の佳日に靖國神社の例大祭及び陸軍記念日の大行事が重なり而かも南方の戰果輝き國民の陽氣に浮かされ戰勝の氣分に陥り心を緩め勝ちになる時であり この時こそ敵の乘じようとする好機であると思ふ

【民防】空の徹底は日頃の訓練の完璧にあるばかりでなく常に心に隙のないことが最も大切である、心の備へなければいざといふ瞬間の警戒態勢は崩れ易い、我々軍官民は先日の内地空襲の教訓を活かした警戒に基いて防空訓練の萬全を期し確固とした自信を以て益々緊張して敵の侮辱に萬遺漏ないやうこの際一段の切望する次第である

雄壯！蘭印戰記
〇〇參謀談話

轟然海面蔽ふ水柱
海軍參謀も驚嘆の大海戰

我々は二月十八日午前十時〇〇泊地〇〇を出港した、南方の海はいつ迄つても靜かである、風が北から吹いたために船は極めて涼しかつた、船組の兵隊達は内地以來の暑苦しい十日作戰準備のため、一回も上陸したことがない、それにもかゝはらず熱帶地で鍛へたこの兵隊達は、自分達の苦しい生活の間にも常に眉を明るくしてゐた、遂に上陸といふので嬉しいものがわづかに一つ漏れ出すに止まつたことは、世界最大の輸送船團の新記録である、夜はときに陸軍の歌を唱和した、將兵も船員も兵もみな一緒になつて兵隊さんの勇ましい歌に拍手した、二十三日船はクチン西方を航行してゐた、このごろになつて初めから心配してゐた敵機がはつきり事實となつて現れてきた、それは天候の不良と飛行場の整備不良と相俟つて航空機の活動が思ふ通りに進捗せぬのとまた、米、英、蘭、濠の大巡以下數隻以上の艦艇が逃げ廻つてジャバ近海にうろついてゐる二艦隊であつた、戰爭遂行上船は高大級の戰力である、なるべくは沈めたくない、防禦の勝定で上陸を二日延ばすことになつた、しかしたゞぼんやり二日間海上に浮んでゐると、敵の潜水艦、航空機に狙はれるので、一日航路を迂航してまたもときた路を引返すことにした、逆航中は風を正面に受けて久振りに涼しい、夜になつて赤道が近い甲板上には三々伍々集つてゐる、將校や兵隊達は愉快に消夏の談話に花を咲かせてゐた

廿七日の朝船團はジャバ海に入つたがまだ敵の殘存艦隊と航空機が少くないので更に一日上陸が延期された、强い大艦隊を以て敵地沖合を航行するのである、無敵海軍に信頼してゐたから大して心配はないが、圖上で艦隊をおいて考へてみるとそつとする行動であつた、この行動すら知り得なかつたのか知つて惱けついたのか米、英、蘭、濠、海軍は何らの反撃も我が船團に加へ得なかつた、英、米海軍は徒らに逃路を吹き廻るこけ脅しの兵隊としか思へないのである

ジャバの西北部バンタムは昔はジャバ人の都であつたが蘭人がジャバを乘つ取り、バタビヤに都して以來衰れた、このバンタム灣の西側の岸邊これが軍主力の上陸點に決められてあつた、豫定は三月一日午前零時泊地進入、〇時第一回舟艇發進、〇時第二回發進、〇時第三回發進、第二回までで戰鬪部隊の全部を揚げてしまふ、赤道の直下では黎明といふものがない、六時になるとはつきり明くなつて太陽が出、夕方の六時にはぱつたり暗くなる、それで朝の暗いうちに戰鬪部隊の全部を上陸させようといふのである、兵團司令部は第二回に軍司令部は第三回に上陸する計畫であつた、ところが船團は豫定より早く廿三時四十分には泊地に進入した、鎮靜のジャバの山々は朧月夜の薄明りに靜かな姿を横へてゐた、艦艇一つしない無氣味さ、第一回舟艇發進、〇時半すぎには第一回上陸成功の信號が上つた、第二回舟艇も進んで直ぐ大本營と〇〇へ報告を打電した、このころ泊地の東方で照明彈が閃めいた、甲板に上つて眺めた、わが巡洋艦〇〇、驅逐艦が泊地の前方で敵と交戰してゐるとのことであつた

一通り照明彈を落すと今度は魚雷だ、それが海中に落ちて物凄い水柱がここかしこにあがる、驅逐艦の水柱か魚雷の水柱か見當がつかなくなる、船舶の高射砲は一齊に殷々と火を吐き出した、照光彈が魔物のやうに泊地を掩ふ、射ち合つてゐる彼我の艦艇は夜の水面のことゝて直ぐ眼の前にみえる、敵の艦艇とはまた隔れて見えた敵艦がする、戰爭とはほんにこのことだらうと思つた、私は生れて初めてこの素晴らしい光景――兩國の花火を一千倍にしそれに沖金を入れたやうな――をみて、恐らく一生の間にこのやうな光景をみることはもう二度とないだらうと思つた、僚らの海軍參謀は自分もこのやうな戰鬪は今度が初めてだといふ、暫くたつてわが驅逐艦がやつて來て、敵らの砲を放つわが巡洋艦〇〇である、彼我の戰力にはやつとバランスがとれてきた、みてゐると私どものすぐ地方にあつた〇〇丸に照明大砲彈とともに命中し、瞬くして不幸にもまた魚雷が命中してみるくうちに沈んで行つた、〇〇がやられたと呟く兵隊の顏には幽かに不安の色が漂うた、第一次二次と上陸するものが出て船のなかにはだんだん人が少くなつて來た、やがて海上戰鬪の左方にあたり猛烈なサーチライトが二筋われくの眼を射つた、思ふと耳を聾する砲聲、巨大な水柱が海面を蔽ひてはつきりみえた、またサーチライトが消えたかと思ふとその艦艇から眞赤な火が上るのとが同時であつた、たれいふともなく「敵艦轟沈だ」手を叩く兵、萬歲を叫ぶ兵――一瞬間附近からの爆彈はどこかへ消し飛んだ――一しきり敵艦の撃がとよめいた後われくはわが船の左舷一百メートルの海面に大きな水柱が上るのをみ、同時に物凄い音響を聞いた、間もなく右舷の後方海面に近く何ものかが爆發する凄い音を聞いた、軍司令官始め一同わが船は敵の魚雷の攻撃を受けたと察した、けれどもわれわれ第三次組はなほズボンにシャツ一枚で甲板にゐたのでやうやく戰鬪準備の必要を感じた、私は閣下にお供して甲板を降り自分の船室に歸つて武裝を整へた、最後に救命胴衣の紐を結ばうとしたとき今までに感じたことのない衝擊をどしんと身に感じた

泳ぐ軍司令官
〔バンタム沖海戰〕暗夜、兵と共に……

窓を見ると、窓ガラスが滅茶々々に壊れてゐる、船は傾きはじめた、船室の軍需品は傾くや總崩れのため第一次第二次に揚つて上つて室には私と副官田中中尉と唯二人であつた、私はしかしこの時極めて輕快な氣分であつた、その理由は第一に船は沈むものでない、まして雷擊や爆彈一發で沈むものではない、またもし萬一のことがあつても海中を泳いで行くといふことは古今東西の戰史に例がないことだつた、しかし兎に角田中中尉に上の船室にゐられる軍司令官閣下をお連れして來るやう言ひ、船室の出口で長靴をはいて閣下が降りて來られるのを待つた、やがて閣下が降りて來られて右に船舶と〇〇大佐、〇〇參謀と私と田中中尉と合計七名でタラップに導る甲板上に出た、旗甲板はこの生命の危險を眼前に控へながら平然たる態度であつた、令官より二等兵まで助け合ひながら一緒に舟艇の救援を待つた、戰友の名と自分の部隊の名を呼ぶ、船はすでに四十度近くに傾いた、われわれは思はず欣躍とした、船は第一回目が發進した際その一艘は目前に迫つてゐた、わづかに船から五メートルしか遠ざかれず閣下にかやうに思はれる、附近に荷物が落ちてくる、船から離れようと泳ぎをあせるので呼吸が苦しくなつた、今日までジャバの攻略……さかとても氣持がよかつた、私は地下足袋をはかず長靴だつたので、跳び込んで泳ぎ出しても足が重いために立泳ぎになつて陸岸へは進まぬ、二、三分間にして閣下を海中に見失つてしまつた、彼我とも閣下は田中中尉に助けられ閣下は船舶用の富初からさうであつたが入水後も極めて落ついてをられ、幸ひに附近に浮んでゐた木材に取りつかれ集つて來た兵隊たちを指揮されながら、浮んでをられたが約二十分ののち、舟艇が來てこれに乘られたとのことであつた

要務をありくと感じた、死生の際に立つても日本の兵は自分の上官と戰友の身の上を念頭から放さない、高級指揮官まで文字通り兵士たちと苦樂はおろか死生を俱にする一方部下はわが身を顧みず指揮官を庇ふ姿の如き戰場、しかも軍司令官から兵まで血汐のなかには大元帥陛下の御ためにといふ誠い信念以外何もない、世界中どこの國へ行つてもかくの如き軍隊は斷じてない、何人でも日本人たる限り一度戰場の血腥い雨飛のなかで今夜のやうな場面に遭うたら必ず日本人の血汐が躍予として甦るのである、舟艇内に入つてから兵たちは私の身體が高級將校に氣がついた、階級章は救命胴衣を着てゐるため判らない、今までは階級とか服裝を見分けるのんきな場面ではなかつた、舟艇が陸に近付いたとき岸の面は珊瑚礁で凹凸物凄しく海底にとげが多く步けない、私は靴を脱いで裸足だつたので忽ち痛んで手足に傷を負ひ步けなくなつた、これをみた兵二名はすぐ艇から飛び出て來て岸まで運んでくれた、陸に揚つて閣下の所在を尋ねた、幸ひに私のところから百メートル位のところに腰を下してをられた、不甲斐なくもびつこを引きく閣下のもとに馳り上陸成功の祝辭を申上げた、軍の首腦部は暫くして揃つた、自分では氣がつかなかつたが、人の顏をみるとまるで眞黑で泥んのやうな顏をしてゐる、閣下もその一人であつた、重油のために軍服も眼鏡も水筒も雜嚢も手も一面に眞黑であつた、なかには拔身の軍刀の鞘が外れて拔身を下げて上つて來られた方もあつ

は不思議とわが戰隊の上空五十メートルかに敵機の活躍を封殺した、マレー沖海戰ではコタバル飛行場に我陸軍戰鬪機隊が待ち構へ、南部佛印の飛行場にはわが海軍〇〇機が爆裝の手入れを完了したところへ、プリンス・オブ・ウエールズとレパルスがやつて來た、ハワイの奇襲は神風としか信ぜられない、その他このやうな奇跡は山ほどある

畏くも詔勅には「天佑ヲ保有シ」と宣はせ給ふ、皇國將兵の岐路必ず天佑あるを私は固く信ずる、今われくが如實に經驗したこのジャバの上陸戰も實に不思議にして有難い現象に充ちてゐる、第一今夜が昨夜であつたら、どうだつたらう、泊地偵察、莫大な死傷者を出してゐたに違ひない、第二に船團が泊地進入前または進入直後で舟艇を卸してゐなかつたとしたら、何千人の死傷者を出したか判らぬ、幸ひに第一回の部隊が揚陸後で直ぐ救助に歸つて來た、第三に泊地が岸に近く舟艇の廻りが早い上に海が淺くて沈没する

一面續き

作戰に參加してここに武人の一生の終りを遂げるは極めて榮譽あることだと感じた、しかしまた腕力があつたので五メートルを泳ぎ返り船べりに手をかけて長靴を泥中で脱つてみた、腰部にもすると長靴がぬけたので向うの舟艇に泳ぎつくことが出來た

艇側の高い舟艇内に入つた私は舵索を傷したが兵はなほも口々に自分の分隊長や班長や中隊長など戰友の名を呼んでゐる、閣の舟艇に向つて「〇〇殿を救つてあげて下さい」と呼んでゐるものがある、艇内の薄明りで自分の戰友が助かつた姿を發見して互に相擁して嬉し泣きに泣いてゐる情景をみて涙を止め得なかつた、私は今後この海中と艇内の情景を眼のあたり體驗して日本軍隊の强い

敵襲下・上陸成功の田中部隊勇士（ジャバ島バンタム〔三月一日〕）＝〇〇電送

た、しかし全員極めて元氣で敵愾心と攻擊精神に充ち溢れてゐた、われくは第一次、第二次に上陸した將校や兵たちから煙草を御馳走になつて、暗いなかで暫く談話してから上陸點より千五百メートル位行つた、原住民部落の傍らの椰子林に陣つて步き、夜中ではあるがそこに軍戰鬪司令所が開設された、だんく情報が集つて來た、この方面の軍主力〇〇隊には一名の人死者もなく、全員上陸を完了して離れ木その他で監視された道路上を遊擊してゐる、泊地の戰跡で損傷をうけた船は、合計四隻そのうち二隻が坐りにも廻つたり敵は、司令部の船だ、本當に沈没したのは〇〇丸一隻で、他は海が淺かつたために水面上に姿をみせてゐる、死傷者も極めて少く行方不明はわづかであつた、軍司令官が身をもつて難に當られたことを聞いた第一線の將兵は感激し、この仇を討たんものと張り切ち、また閣下が元氣でゐる詳報なのを傳へ聞いた人々は嬉しさにますく勇を鼓ひ起した、重要書類のなかを泳いだのは軍司令部だけであつて、しかも司令部のなかでも最高首腦部だけであつた、われくは大東亞戰爭の作戰が開始されてから數々の不利難な作戰的現象を經驗した、十二月七日の豫落艦上陸の前日敵の飛行機に船團がつけ狙はれてこれを體驗したことを聞いたとき、七日にはわが船團は敵の空襲のため惱るべき攻擊をうけるだらうと覺悟した、ところが七日の午後に

は〇の船の大部が沈没に至らなかつた、驅逐艦に各輸送船に一隻づつ至近距離の爆彈を見舞はれたらおそらく忽ちにして大部の船はやられたであらう、どう考へても解せない私はわが皇軍の天佑を信ぜざるを得ないのである、泊地の戰火が明かになつた、わが泊地を襲つたのは比島米艦隊の重巡ヒューストン（大型巡洋艦一萬トン）と濠洲艦隊のパースで驅逐艦を伴つてゐた、われわれの船は快速魚雷艇から放つた魚雷のため損害を受けたのであつた、敵の大巡二隻はわが海軍に發見されて瞬時にして撃沈せられた、盟軍の艦船はすでに述べた通り、海軍艦艇には一隻の損害もなかつた

われくはまた夜の明けぬ椰子の中の戰鬪司令所で敵の報告を待つた、身體がびりくする、氣がつくと重油にかぶれてゐるので眞ツ黒な軍服とシャツを脱いでさるまた一つとなり、さきに上陸した人たちのシャツとズボンを借りて着たが、間もなく新しく着たシャツに黒いものが滲み出て來る、皮膚に入りこんだ重油が浮いて來るのであつた、夜が明けて各方面とも上陸に成功し戰果擴張中との報告に接した、夕方頃物資から兵用の被服が揚陸され階級章と勲章を黒い服から外し、支給された軍服につけた、軍司令官だけはどうも軍服ではをかしいので副官が揮發油一斗で黒くなつた閣下の軍服を洗つて着て頂いた、揮發油は墨汁のやうになつた、夕陽が西の海に入る頃、私は司令部を案内して戰鬪司令所の下を流れる小川に下りて二、三十分間も皮膚をこすつて油を洗ひ落しやうやく普通の身體になつた、その夜は人のゐない原住民家屋に寢た、この日の午後三々伍々ヒューストン・パースから敵の將校や水兵がわが上陸點に漂着して來た、みな疲勞でさるまた一つであつた、負傷中二割に火傷をしてゐた、中には頭の髮まで焼け焦げてゐるのがゐた――〇〇隊は敵を驅逐して戰果擴張を方向したが敵の交通破壞は實に周到を極めてゐた、道路の並木はどれもこれも直徑一メートル位きに倒木が充ちてゐる、又並木を原住民を驅使して鋸で挽き倒したのもあつた、農地を通る道路は多くの炸藥によつて根底から爆破され池のやうになつて道路を遮り工兵隊が架橋にかゝつても臨深くまで爆破してゐるので抵抗がどこまでもめりこんで行く、石油の豐富なこの地方では隣接に自動車が發達し、田舍に行つても深山のガソリンスタンドがあつて、これが敵則から私共の希望の一つであつたが、見事敵の計略に負けた

スタンドの油のなかには砂糖が入れてあり、知らずにその油を自動車に給した人々は二、三時間で大切な自動車の機能を失つてしまつた

路上にはタイヤをパンクさせるため釘を方々に作つた釘の斷片をばらまいてゐる

敵將遂に降伏
放膽、緻密なわが作戰

閣下の聲がした、軍の田中副官だ「バンドンの敵は降伏して來さうです」といふ、飛び起きて自動車を準備させ軍司令部に行つた、軍司令部は直ちに東方へ進出してカリヂヤチ南方の前線に向ふ、バタビヤからカリヂヤチまで百二十キロ、陸地の場合は軍司令官以下步かうといふのである、しかし間もなく戰車隊の鹵獲の自動車によつて乘用車三台と護衛兵を乘せ東方の戰場を前進したトラックが一台來た、カリヂヤチに近づくにしたがつて死體の臭氣が鼻をつき敵の戰車やトラックが無數に路上に遺棄を止めてゐるのが目に入つた、ここでこの方面に派遣されてゐた東海林部隊が語つた戰況をぜひお傳へせねばならぬ、少數の兵力をもつて敵主力の鋒先に果敢な上陸をやり、上陸した日の正午すでにうけた任務のこのカリヂヤチ大飛行場を押へた東海林部隊の殊勳についてはさきに述べたが、パレンバンにあつた東海林部隊長は飛行場がわが手に入るや否や自ら先頭の飛行機に搭乘して此處に着陸された、不完全な飛行基地からのジャバ航空殲滅戰、それに天候の關係で戰鬪の成果は當時においても十分ならずハリケーンやスピットファイヤーが數少殘つてゐる、その上この飛行場の周圍には當時バタビヤ、チリリタン、ベイテンゾルグ、アンセル、チマヒ、チエリボンと數多くの敵飛行場が包圍してゐる、その上に飛行場附近は今彼我の地上戰鬪が盛んに行はれ飛行場に砲彈が炸裂する、周圍ペトロールからは燃料と彈藥を運ばねばならぬが、その途中には敵兵がうよくしてゐる危險この上もない、しかし地上部隊に最も有力に協力するためにはどうしてもパレンバンは遠い、タンジョンカランは近くて活動が出來ぬ、危險を冒して進出することを決心を東海林部隊長はとられたのである

西洋式の定石戰法で行けば第一線で彼我がはげしく撃ち合つてゐる戰線に友軍飛行隊が飛行場を確保するなどは狂氣染みてゐるといふであらう、戰術の原則に外れてゐる、然し我が軍は戰術の原則を吹き飛ばしてしまふ、全軍一體の命がけの協力、誠に死をともにして互ひに助け合ふ協力、此精神「距離は戰力なり」この原則だ、事實この飛行場からバンドンまで飛行機で十五分、敵機も來る代りにこちらからも出かける攻擊を考へると一日に何回も行ける、一戰隊の戰力が十戰隊分の戰力を發揮するのであつた、東海林部隊長は自ら陣頭に立つて世界戰史上空前の果敢なる前進をせられたがまた戰局細心な戰略指導をなされた、周密な全般作戰計畫によつてバンドンの山々の要塞の一番弱い所を選んでは猛然立つて敵陣を攻擊された、百戰錬磨のわが航空戰士にとつては敵機隊の迎擊状態か、爆擊で未熟な敵航空兵に對する必勝のチャンスと判斷せられたからだ、その自信とその周到な戰術のほかはない

三日の朝われくがセランの司令部で受取つた敵戰車百二十台現出した時の戰況がはじめて明かになつた、軍派遣參謀の語るところによれば、敵は東海林部隊のゐない間隙を通つて爆進して來た、すでに飛行場の一千メートル西方まで迫つて來た、附近には飛行場警戒の兵以外この大機甲部隊に對抗すべき部隊がなかつた、部隊長は落着きはらつて命令された「敵の戰車縱隊の先頭車と後尾車を直ちに爆擊せよ」直ちに飛び上つたわが飛行機は急降下して所定の目標を爆擊した、見事に先頭と後尾車は立往生して燃え出した、敵の大縱隊は前に進めず後に下れず、路外は水田で轉開は出來ずそこへ續々と次ぎくにわが飛行機が襲ひかかつて瞬くうちにその大機甲部隊は殲滅した、颯爽たる機甲部隊と毅然たる航空部隊の肉薄、間一髪まごくしてゐると飛行場が奪取せられるところであつた、しかし何んといつてもバンドンは敵のジャバ守備の本據である、蘭印軍首腦部の諸將達ここに集中してゐる、當時は二萬の兵力を擁し米英蘭の支援によつて最後までも頑張らうとし、周圍の山々には一年掛りで堅固なトーチカと砲台が築かれてゐた、據つても據つても續々と大部隊が繼續して來る、東海林部隊はすでに三月一日上陸の時期からうけた任務は完璧したが、このまゝ守備で日を過すとわが兵力が弱少でかなくなるといふ状況だつた、しかして全力を集結して斷乎としてバンドンの敵主力を攻擊せんと四日の夜半紙を認めて飛行場の治安維持部隊長に使を立てられた、この要令は五日の朝飛行場に着いた、治安部隊長は直ちに同意を表せられ

「飛行場警備の兵は一兵も要らぬ、みな第一線に行け、自分の部隊は一團になるまでともに攻擊に協力しよう」と

と決せられた、直ちに〇大隊の兵力を以て牛氷入城地に據る二萬に餘る大敵に對し猛烈攻擊を決せられた東海林部隊長の決心と、治安部隊長の應じて死をともにせんとする決意と協力の攻擊精神とは帝國陸軍部隊の士氣の鑑として全軍派遣將兵に感激を及ぼしたのである

われくは午後四時飛行場に着いた、司令部は飛行場の側にあつてその一室に敵の首腦人數名と、われくは宿舍の一室で知つた、間もなく元戰鬪が來てゐることをはじめて知つた、私は戰鬪日本飛行機隊長宿舍の一室で軍司令官閣下に會ひ長いテーブル、向つて右は軍司令官、左は敵將で中央に

軍司令官部長の三將軍が席につき敵將がその後に居並ぶ、總督チヤルダー以下が入場した、正面に總督その左に陸軍長官テルポーテン、今村閣下は先づ總督と陸軍長官にその保有する權限を問はれた、不思議なことに總督は統帥權を持たぬといふ、元來總督は文武の大權を掌握しその施設のみは中央に直屬してゐたのに、をかしいな――と思つた、質疑應答かあるひはウエーベルが來てからごたくがあつたのか、つぎに軍司令官閣下は「總督は無條件降伏をするのか」と訊ねられたところ總督は答遲らず卽答きまでに落着いた態度で頭をゆるやかに横に振つた、そして「ちよつと待つて下さい、あの入口にゐるのは新聞記者か寫眞班か知らぬが、あれを退場させて下さい」といふ、閣下は

「然らば貴官は何しに來たのか」

と詰問すると

「私は貴方の方から來いといはれたので會談に應じて來たのです、閣下とジャバの民生について相談しようと思つてゐます」

と逃げる、ついで閣下は陸軍長官に對し

「貴官は無條件降伏をするのか」

と問はれれば、長官は

「バンドンだけ降伏を許して下さい」

といふ、閣下は斷然として

「われくにとつてバンドンの地圖など問題でないのだ、蘭印全領域を擧げて無條件降伏するか否かのみが問題だ」

ときめつけると、彼は

「われくは日本軍の敵でないことは重々承知してゐます」

といつた、その總督はきつと陸軍長官を睨んだ

何回問答しても

「バンドンだけ停戰して下さい」

といふ、今村閣下は憤然として

「これ以上問答は無用だ、無條件降伏をせぬのなら攻擊を續行するより外に途がない、然らば卽刻バンドンに歸り給へ、わが步哨線を通過するまでは身柄の安全は保障してやるが、步哨線を一步出たら飛行機に爆彈を積んで待つてゐる、あの飛行機でバンドンを爆擊する、しかし最後の機會に考慮の時間を與へよう、今から十分間のうちに最後の決心を決め給へ」

といはれて座を外された、十分ののち前と同じ座について會議、今村閣下は總督に向ひ

「我々は今政治の話をしてゐるのではない、卽時戰鬪停止を決するため會見を惹起した、總督は統帥權を有たぬやうだからこれから陸軍長官とのみ話をする」

と申し渡された、次いで陸軍長官に返答を求められたが、この陸軍長官の返答は暫く躊躇して直ぐに全蘭印降伏に承知した、總督は口を開いて

「私も今から女王陛下に降伏してよいか、電報を打つ用があります」

といひ、やがて

「蘭領説をのけてくれ」

「私は戰爭が嫌ひますから退場します」

と悠々と立つて部屋を出て行つた、出口で又も

といふ、その態度は全く堂々としてゐる、實に敵ながら天晴れな男と思つた、總督チヤルダー、彼は本年五十四、五歳だが、長身中肉、容貌端麗、貴公子然として四十四、五歳にしか見えない、在住五年半といふから四十代でこの世界の富源七千萬人の民衆を擁する東印度の主權に就いただけあつてオランダでも一流の人物に違ひない、彼は東印度全領域における戰鬪を知悉してゐるはずだ、その上陸作戰の猛攻によつてさしも堅城を誇つたその航空兵力は全滅に瀕してゐる

バンドンの北方レンバン附近は一杯戰さず見事に陥落し、周圍の要塞も爆擊せられ道路まで遮斷によつて到るところ大穴があき一晝夜半で見る道を四時間もかかつてこのカリヂヤチに來たのではないか、道々に彼は何を見て來たか、道路の兩側には東海林部隊が兵力の數少を爆擊するため全部の兵力を集めてゐたし、蘭印軍將兵の死體はこれも路傍に一列、二列と積められて來たはずだ、道々には擲白の無慘な兵器の殘骸が散亂を極めての下で殘骸を放つてゐるのを嘆いて來たはずだ、陸自の皇軍飛行機が爆彈を積んでバンドン目指して飛立たうとしてゐるのを今見てゐるのである、しかも首腦を頼んだこの慘めな敗戰の主將は喪の喪服に身を包んで來た、この状況下における總督チヤルダーの落着きはらつた態度、總督の威嚴を堅持した態度は實に堂々たるものであつた、陸軍長官はシンガポールで見たパーシバルの態度とは似ても似つかぬ立派さであつた、敵人など馬鹿にする人間はない、今日この瞬間にかくもわれく年來のわが經濟交渉をして來たのであるから、この調子で一體年來のわが經濟交渉を攪亂したのであらう

【以下三面へ續く】

公衆の面前の國語常用の徹底　綜合圖
十四字詰 四十行以内・國語普及係宛・紙上掲載

國語普及一考察

◇……中鮮以來の國語を解する者は僅かに一五％、施政以來三十餘年、一年每に〇、五％、卽ち年平均解語者十萬人を出したことになる、これ國語政策の宜しきを得た結果である

◇……現代國語は必須、現在の國語常用は内鮮一體の絶對的要件なりと確信せられたことは、我等半島民衆は欣喜感激せねばならぬ

◇……國語普及は學校又はラジオその他各種機關を通し普及しつゝあるは勿論であるが、學校教育のみに依存するのみでなく、此際各種機關をも動員し官民協力で普及徹底を期すべきである

思想戰爭號 現代 五月號

思想戰の本質 座談會
小島威彥・櫻井德太郎・西谷彌兵衞・花見達二・堀公一

▲日本の思想戰的課題……飯倉龜太郎
▲スメラ世界維新大綱……仲小路彰
▲教育刷新の根本……阿部仁三
▲米國の對日北方進攻路……伊藤七司

議會政治の自覺と限界……滿田巖
▲清新議會の進路……伊藤滿
▲米國抗戰經濟の本質的弱點……打村鎭三
▲南方經濟と通貨金融問題……松岡孝兒
▲南方の國防鑛產資源……渡邊源一郎

新しき印度の構想
印度國民運動の展開……木村日紀
印度地圖（折込四色）

創作 われ等の仲……和田傳
姉妹……深田久彌

▲櫻山玆俊……吉川英治
▲菊池一族……菊池寬
▲吉田松陰……田中惣五郎
◇隨筆……十氏
◇讀書樓隨筆……竹越與三郎
▲ニュージーランドの實情
▲南方の宗教と眞如法親王

定價八十錢（送料三錢）

世界戰略論　酒井鎬次

每號賣切、至急最寄書店へ

大日本雄辯會講談社發行

改造 五月號 九十錢 〒三錢

特輯 革新政治貫徹の方途
室戶健造・美濃部洋次・菅原兵治・海後宗臣・鶴田三千夫

英國の印度征服史論……忠雄
常用漢字の問題について（石原純）
「リスト・ルネサンス」（高橋誠一郎）
大東亞戰爭と支那問題の所在（梨本祐平）
大海洋作戰の新展開（平出英夫）
（南方報告）巨いなる步み　山本實彥
印度獨立の展望（綱本利行）
政治的新人論（岩淵辰雄）
資本主義通貨の歷史的旋回
現代と詩精神（保田與重郎）

▲航空醫學研究餘滴……勝沼精藏
▲小島……會津八一

總選擧下の地方を往く★　平貞藏　小野武夫

パレルスは斯くて沈みぬ　英紙乘組記者 ギャラハー

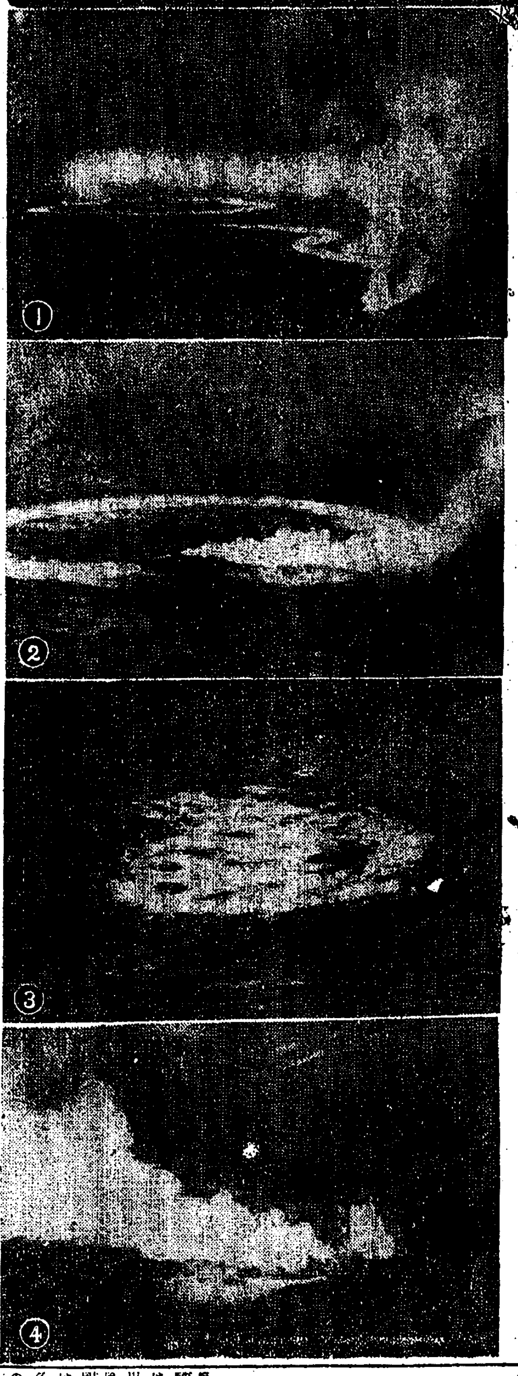
小說 海に行く……葉山嘉樹
小說 水仙……太宰治
▲南下二千浬の旅……中川善之助

東京市芝區新橋七丁目　振替東京八四〇二番　改造社

哀れ英艦斷末魔の姿

太平洋、西南太平洋に次いで印度洋をも失つた、曾ては七ツの海の支配を誇つたイギリス帝國も落日の孤影に喘いでゐる　その印度洋を失つた歴史的な貴重な最期の光景がこの寫眞である、去る四月五日から開始されたわが海軍部隊の印度洋作戦に幾度か光榮ある功績を戰史に刻んだ海鷲の精鋭はまたもや航空母艦ハーミスをはじめ新鋭を誇るコンウオール型、ドーシセッシャ型の甲巡二隻およびハーミスに隨伴した驅逐艦一隻を瞬時にして巨彈の餌食にしたのである【電送寫眞上】わが海鷲の猛爆により横倒しとなり後尾より沈沒しつゝある英甲巡ドーシセッシャ號【1】英甲巡二隻に對し爆撃開始【2】舵尾故障のため艦の自由を失ひ遂に停止した英甲巡コンウオール號【3】コンウオール艦影を沒せる瞬時の海面【4】イギリス航空母艦に隨伴せる驅逐艦まさに沈沒せんとす

（いづれも海軍報道部提供＝海軍省許可濟第五七一號）



國語全解運動は先づ教科書から
教本"三段構へ"の布陣

十七年度の知事會議の中心問題となつた國語全解運動が早くもその緒につき近く全鮮の府郡邑面にも[illegible]されるー冊國語教本の編纂に[illegible]、國語全解運動の全鮮に[illegible]すべく、その基礎教本編纂を急いでゐるが［まづ教科書から］といふので廿八日午後一時から[illegible]會議を開いた

[illegible]、[illegible]をはじめ、[illegible]、[illegible]、[illegible]らが集まり[illegible]になつた「コクゴ」（普及本）「コクゴノホン」（練習用教本）「國語教本」の三種について[illegible]

國語

司政

教本の編纂方法としては
一、まづ教本を無料で配付すること
一、教本は最も容易なるものから順次高級なものへと段階を設けること
一、文字よりも用語を多く教へること
一、[illegible]

曾話を容易ならしめること
一、[illegible]

昭和十三年[illegible]

[illegible]「國語教本」の内容を[illegible]

日本的なもの

[illegible]

午前八時國民奉祝の時間
大東亞戰下・けふ初の天長節

【東京電話】大東亞戰下に迎へるけふの天長節、一億國民は[illegible]この聖節に從つてけふの佳き日を奉祝し奉るのである、すなはち午前八時を「國民奉祝の時間」と定め[illegible]により奉祝申上げる

【イ】各家庭では右の時間に宮城遙拜を行ふ
【ロ】各官公署では神社参拜式等を行ふ
【ハ】官公衙、學校、會社、工場、結社では適宜時間に遙拜式を行ふ
【ニ】其の他[illegible]
【ホ】國民各自[illegible]において[illegible]をなすこと

感極まつて涙もなし
全ジャバ、今我が前にひれ伏す

蘭印戰記（二面より續く）

さてシンガポールの時と異り蘭軍の降伏は東西何千キロにわたつてゐる。この全地域の部隊に直に降伏を命じても容易に傳はらぬことはこちらもよく知つてゐる。よつて軍司令官は蘭軍司令官に降伏に關する條件の申渡しをされ、これに署名を求められたのち、次の如く申しつけられた

[illegible]

陽は西に傾いた、[illegible]

譽あり治安の防人
永續警察官、民間功勞者を表彰

[illegible]

◇民間警察功勞者[illegible]
◇二十五年勤續警察官[illegible]

三橋警務局長談

[illegible]

出でよ"日本一の桃太郎"
優良幼兒表彰審・申込あす限り

[illegible]

審査規定【申込資格】昭和十三年五月二日より同十五年四月二十日迄に出生（滿二歳から滿四歳迄）の男女幼兒

[illegible]

聖地參拜闕
海軍省訪問

[illegible]

第一着は北鮮
米英撃滅驛傳　第一日の成績

[illegible]

貴族院皇軍慰問團けふ入城

[illegible]

夏川ほうじ茶　京城 夏川

防空資材　西田火災報知機

倦怠・營養・能率　錠　チアミジン

私のソバカス取つた話！

新偉人傳全集　豫約募集　全廿五卷
ヒットラー／聖日蓮／精衛／達人南洲／ビスマーク／岩崎彌太郎／漱石

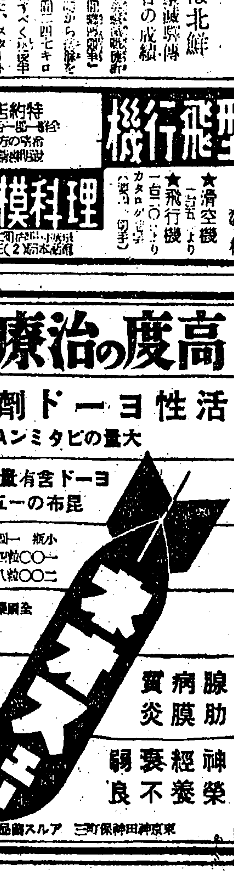
精神文化全集　豫約募集　全廿四卷
加藤咄堂選集／山田忍三選集／木高邦彥選集
潮文閣

鐵と鋼　陸軍大佐 松井光太郎著　新刊
金屬材料及其加工法　工學博士 齋藤大吉著　新刊
丸善

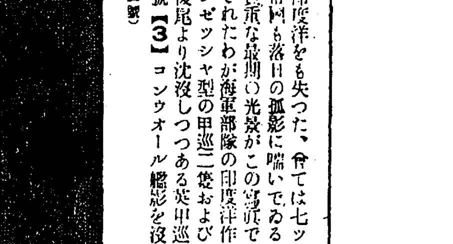
有田藥松翁製劑　肺病　ろくまく　胃腸病　中風　りん病　ばい毒
全國各地の　有田ドラッグ

東光堂

軍神の家々
◎岩佐直治中佐の家
◎軍神の母校
◎古野繁實少佐の家
◎横山正治少佐の家
◎廣尾彰大尉の家
◎佐々木特務少尉の家
◎横山特務少尉の家
◎上田兵曹長の家
◎片山兵曹長の家
◎稻垣兵曹長の家
キング五月號に掲載

高度の治療藥　活性ヨードー劑　ネオスキ

腺病　肋膜　貧血　神經衰弱　榮養不良

模型飛行機　國民學校教材　理科模型社
★滑空機　★飛行機


鑛山、土木用諸機械　諸工具、諸材料　加藤ガソリン機關車代理店
一、レールゲージ
一、納期御下命後一ケ月
一、價格低廉
一、性能保證
京城府漢江通り　朝日商行

レコード吹込

[illegible]

工員緊急募集

[illegible]

登記公告

[illegible]

京城版

京西町聯合會新年度事務打合會 京西町聯合會では廿八日午後三時から西部出張所會議室で管内の十五ケ町總代を招集して新年度事務編成に關する打合會を開催した

異郷に病む青年へ 麗しい警官の温情

銃後に咲いた警民一體の佳話

大陸雄飛の意氣に燃えはるばる北鮮に渡つた二人の内地青年が、不幸病を得ずして病軀を故郷へ運ぶ途次、路金が盡き果て病魔の脇宮に呻吟してゐるのを救ひ出し無事歸郷させて感激させ、目出度くその中の一人を歸郷させ[illegible]たといふ銃後に咲く警民一體の佳話がある

京城西大門署[illegible]が去る十日後十一時ごろ管内和泉町一二三中林旅館を臨檢すると、三重縣生れ川瀬大吉(二)の兩君がシャツ一枚の姿で慄へてゐるのであつた、日くありさうな姿に[illegible]を尋ねると前記兩名は二年前大陸雄飛の雄志を抱いて北鮮[illegible]に渡り[illegible]會社に勤めてゐたが、不幸病魔に侵され内地へ歸る途中[illegible]したが、思ふやうにならず路金もなくなり困つてゐるところであつた、[illegible]

[illegible]西大門旅館に連れゆき[illegible]を切つて[illegible]てやつた上いろいろと[illegible]した[illegible]立派な警官がわれわれの管内に居られることは町の誇りです、どうか[illegible]をして下さい」と申出した[illegible]ことになつた

九億貯蓄達成祈願祭 京城神社で擧行 [illegible]

時局認識を徹底

消費を切りつめ機密を守れ

各班員に通達

[illegible]

川岸さんも應援

扶餘神宮御造營の勤勞奉仕

淑明高女の一行歸城

去る廿四日、扶餘神宮御造營の勤勞奉仕に向つた淑明高女の代表、[illegible]かりあげた[illegible]な乙女達の奉仕は[illegible]

[illegible]川岸[illegible]シャツ姿[illegible]

天長節奉祝式 敦岩町會で擧行

敦岩町會では廿九日午前九時卅分から天長節奉祝式を町内[illegible]で擧行[illegible]

けふ天長の佳節

永年勤續者表彰

西大門署では六氏

天長の佳節の廿九日午前九時から京城[illegible]内六氏の十五年以上勤續者[illegible]

西大門署では左記六氏である

【勤續二十年】▲[illegible]事(司法) ▲[illegible](會計主任) ▲[illegible]部長(外勤)

【勤續十五年】▲[illegible]事(高等) ▲[illegible] ▲山村[illegible]部長(外勤)

見事火事を消止めた六班員

近く所轄署で表彰

町内の火災に身を以て消火に盡力した六名の愛國班員が近く府[illegible]

名と、十五日同町一四〇番地家屋火災の際駈けつけて消火に盡力した同町第三愛國班長[illegible]

闇取絶滅に拍車

『買物手帳』を配布

[illegible]

自己反省の日記

乙女達の品性向上に

祥明實踐高女が新しい試み

[illegible]

町會事務所へ令旨を奉安

健民運動週間中住民が奉讀

西大門署管内

京城西大門[illegible]

一錢献金 [illegible]

睨んだ眼に狂ひはない

三巡査へ署長から金一封

[illegible]

阿峴青少年團新團員入團式 [illegible]

出生記念の献金 [illegible]

街の慰問袋

一坪園藝に範

[illegible]

愛國パン屋さんまた献金

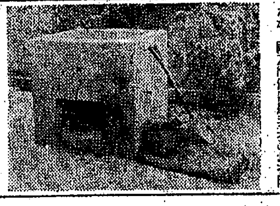
[illegible]

健民運動に歯科醫も協力

[illegible]

新案の防火兩用槽

[illegible]



東部出張所庶務主任更迭 [illegible]

宮崎事務官夫人 [illegible]

ラジオ

廿九日 天長節

朝 七・〇〇 [illegible]

晝 [illegible]

夜 [illegible]

愛の赤道【77】

竹田敏彦(作)

都竹伸一(繪)

捷報の陰(一)

大戰果發表!

ハワイ米艦隊全滅!

比島上陸!

英國屈伏!

マレー沖の英主力艦撃沈!

相次ぐ未曾有の快報に、臨時ニュース[illegible]に帝都の街は、忽ち感動の坩堝となつた。

大榮二郎も、工場へ通ひながら、この目覺ましい快報の[illegible]

「何といふ素晴らしい戰果だ!」

[illegible]

そのうちに月も中旬に入つて、比島戰の大詰[illegible]

ルソン島南部にも上陸!

フィリッピン方面の戰況も、次第に賑かに報ぜられてきた。しかしまだ、ダバオの方面は、月半ばを過ぎても消息がなかつた。

「今に、あそこで戰鬪が始まるのも、さう遠くはあるまい」

[illegible]

「ひとつ、東部でも見物して、あの方面へ通つてもらふかな」

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

改造 五月號

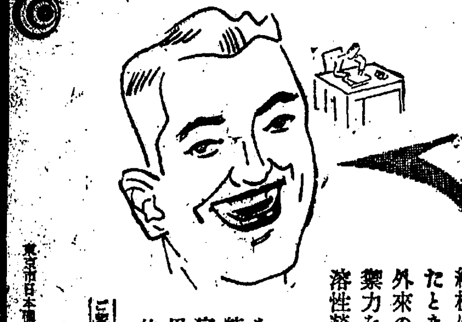
革新政治實徴の方途

レパルスは斯くて沈みぬ

總選擧下の地方を往く

巨いなる歩み 山本實彦

呼吸器をまもる ハリバ



結核は抵抗力の減退したときに侵されるもの 外來の病菌に備へて防禦力を強化するには脂溶性榮養の補給です。

ハリバは脂溶性營養を最高單位に含んだ糖衣の小粒ですから家中そろつて毎日連用するには最も効果的な健康必需品です

ご家庭ではお徳用な五百粒入りを

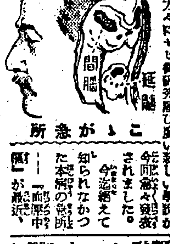
東京市日本橋區本町 田邊商店

HV 111

高血壓.中風

手足痺れ痛み、小用近く 頭重、不眠、耳鳴、肩こり 舌もつれ、半身不隨に惱む方

血壓中樞(急所)の狂ひを止めねば、ナゼどうしても治らぬか



油斷すれば腦溢血で斃れる!

[illegible]

有名なリツケル教授や我國一流大學者達により[illegible]

でもこうして急所さへ治すなら病苦も俄に好轉

新發見 血壓中樞に特殊ホルモン注入療法とは?

[illegible]

本劑「ヤギクラミン」は右[illegible]

★有名藥店に有り。

(朝鮮代理店) 京城・木村[illegible]

(西日本代理店) 大阪[illegible]

製造元 [illegible] 高橋盛大堂

▶説明書無代送呈

詳しくは説明書御一讀を乞ふ 新聞名記入ハガキで發賣元へ申込めばスグ送る。

ヤギクラミン

商業登記公告

[illegible]

古本 高價買入 金剛堂書店

國民服 [illegible]

性病 [illegible] 高峰[illegible]

專門大學制服 [illegible]

巡査受驗の指針社 [illegible]

引越荷造 [illegible]

洋裁 [illegible]

京日案内廣告 [illegible]

タイプ印書引受 [illegible]

レコード吹込機械販賣 [illegible]

タイピスト生徒 [illegible]

京日案内 [illegible]

雇入 乳母 女子 女子 教員 給仕 [illegible]

被雇 教諭 [illegible]

新件 求職 求職 求貸 賣事 求む 求貸 電話 貸事 貸間 [illegible]

特別案内

女事務員募集 [illegible]

朝鮮麥酒會社

事務員募集 [illegible]

樂天堂製藥

高級住宅賣家 [illegible]

酒井市郎商店

女子事務員募集 [illegible]

第一銀行京城支店

貸事務所有り [illegible]

今戸建築事務所

女子サービス係募集 [illegible]

京城寶塚劇場

女子事務員採用 [illegible]

谷川商店

第一劇場 四月二十九日より改組成 名人大會 旅する人々 吉野勤王黨

中央劇場 廿七日より卅日まで 1日本ニュース 2阿波の木偶 3ジャックと豆の木 4指導物語

喜樂館 四月二十六日より五日間 一、日本ニュース(97) 一、文化映畫 一、笑ふ樂園 一、戀山彦

京劇花映 廿三日より廿九日まで 1朝鮮ニュース 2 [illegible] 3 岩と氷 4 [illegible] 空の第二陣 5日本ニュース

朝日座 二十七日より三日間 浪曲と漫才

東洋劇場 廿八日より(四日間) 劇團星群公演 希望村

桃花劇場 廿八日より(四日間) 蘇州の夜 鐵血浪人街

新富座 廿八日より(四日間) 不知火檢校 [illegible]

大陸劇場 廿八日より三十日まで ニュース 文化映畫 夜の[illegible] 丸山和歌子歌謠ショウ

浪花館 四月二十日より上映 大東亞戰況ニュース 花嫁隱密 美しき手

京劇 四月廿六日より卅日迄 戰況ニュース 愛染河内山 文化映畫 荒野の妻

城寶 四月二十四日から卅日迄 文化映畫 青春亂舞 ニュース 自由の青空

和信映畫館 二十三日より二十九日 1大東亞戰爭戰況ニュース 2朝鮮ニュース 3東京の女性

明治座 二十七日より三十日まで ニュース 迎春花 マツルカ

東寶若草劇場 四月廿八日より三日間 ニュース・文化映畫 希望の青空 大市少女樂劇團

城南劇場 四月廿八日より卅日まで 日本ニュース 文化映畫 鐵火くるま 新生の歌

夕刊 京城日報

西部ニューギニヤ北半攻略

モルッカ諸島も完全確保

海軍部隊、廿日間の戰果

大本營發表（二十八日午前十時四十五分）帝國海軍部隊は三月三十一日モルッカ諸島ならびに西部ニューギニヤ北半の攻略作戰を開始し四月十九日同方面諸要點を完全に占領せり

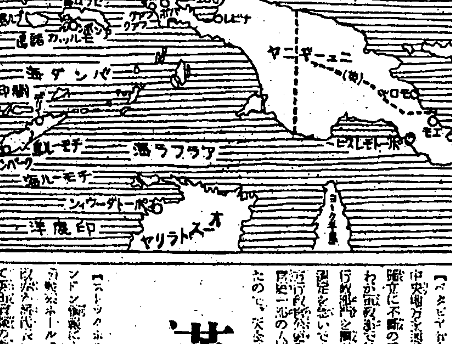
全島攻略本格化

北濠にも無言の威壓

【東京電話】帝國海軍部隊は去る三月卅一日モルッカ諸島ならびに西部ニューギニヤに對し大規模な攻略作戰を開始し同方面の猛烈な敵の抵抗を排除し四月十九日までに主要地を完全に占領したが、この綜合戰果は捕虜百二十四、鹵獲品銃機七百十五挺、彈藥六萬八千二百發、内火艇五隻、ガソリン、黄麻、棉花その他多數に上つており、この作戰によりニューギニヤに對する攻略作戰はいよ〳〵本格的段階に入りわが勢力はニューギニヤの北半から南半へ次第に浸透するとともにポートモレスビー攻略戰、ソロモン方面における帝國海軍部隊の活躍と相俟つて北部濠洲に對して無言の威壓を加へたわけである

モレスビー空襲

【リスボン二十七日同盟】メルボルン來電によれば、西南太平洋反樞軸聯合軍司令部は日本航空部隊が二十七日またもポート・モレスビーを爆撃したと發表した



占領下の諸要地

ニューギニヤ素描

▲ファク・ファクはニューギニヤ…

▲セルイはニューギニヤ北部ヤーペン島にあり…

▲ナビレはニューギニヤ北部の要港

▲サルミはニューギニヤ北部の…

陸戰隊ニューギニヤ・ファクファクに敵前上陸【海軍省許可濟】電送

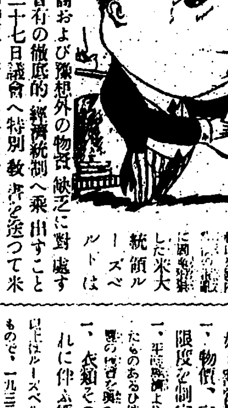
英印軍の醜態に憤慨

ビルマ重慶軍總引揚げ

【上海二十七日同盟】重慶側より香港の某方面に入つた情報によれば蔣介石はビルマにおける英印軍が連戰連敗のためすでに戰意喪失、重慶軍との共同作戰にも全く戰意を缺く點を憤慨しつひにビルマ遠征軍の總引揚げを命ずるに至つたと傳へられる、なほ中國銀行のビルマ支店は英國側の銀行がビルマを引揚げたゝめ、あらゆる取引關係が中絶するに至つて周章狼狽してゐる

米、民衆生活を切下げ

家庭用品に割當配給制



天井知らずの物價高および豫想外の物資缺乏に對處するためいよ〳〵未曾有の徹底的經濟統制へ乘出すことを餘儀なくせられ二十七日議會へ特別教書を送つて米國々内經濟の根本的變革を齎す大改革計畫を提案した、ニューヨーク通信ワシントン電によれば右は【國内經濟…】と呼ばるべきもので

【リスボン二十七日同盟】米國内…した米大統領ルーズベルトは

一、全國民の經濟生活のあらゆる部面に思ひ切つた統制を加へあらゆる家庭の台所および衣類簞笥へ影響する如き割當配給制を實施する

一、物價、家賃、勞銀、利潤などにつき適正および最高限度を制定する

一、衣類その他永續性消費物資の生産停止命令およびこれに伴ふ價格激變を規正する

重税、甘んぜよ

"新生活設計"で欺瞞

【リスボン廿七日同盟】ルーズベルト特別教書の…は「ルーズベルト新生活設計」と呼ばれニューの…

一、今回の戰爭は單なる武力の爭ひでなく同時に人民間の爭ひであるから國民はすべて生活の快適が平時の水準に及ばぬことは…

氷島聯合軍司令官に米少將

【リスボン廿七日同盟】ロイター…

屑鐵に解體

佛豪華船の末路

【ベルリン廿七日同盟】米海軍は…フランスの巨船ノルマンディー號を…

ファンモーク英京へ

【リスボン二十七日同盟】ロンドン來電によれば…ファンモークは二十七日アメリカよりロンドンに到着した

米驅逐艦擊沈さる

フロリダ沖合航行中

【ベルリン廿七日同盟】デーエヌベー通信アムステルダム電がワシントンからの情報として傳へるところによれば米海軍省は同國驅逐艦スターテバント號がフロリダ海岸沖合において沈沒したと發表した、但し沈沒の原因等などについてはなんら發表されてゐない、スターテバント號は排水量千百九十トン、一九二〇年九月進水したもので、五インチ砲四門、二十一インチ水雷發射管十二を有し、速力卅五ノツトである

内鮮一體先づ國語！

英印全く對立

交涉再開思ひもよらず

【ストックホルム二十七日同盟】ロンドン情報によれば…

ジャバ原住民官吏

天長の佳節正式任命

【バタビヤ二十七日同盟】ジャバ…

駐土ソ聯大使

駐ソ土大使會談

【ベルリン二十七日同盟】…

一日京城入り

重光大使、一部豫定變更

誓ふ、和平建國

孫將軍汪主席に謁見

【南京二十七日同盟】…

各分科會を開催

鮮滿連絡協議會第二日

230億貯蓄は保險で
住友生命

鼻の惡い人は

—必ず頭が惡い—

◎手輕に治したい方へ 無代進呈

時の錄音

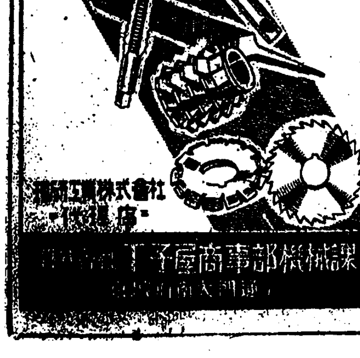
興亞院技術部長新任

任興亞院技術部長 三浦七郎

在外陸軍武官異動

總督府辭令

＝人＝



各種切削工具

乳白整肌料
レートーフード
肌色・白色

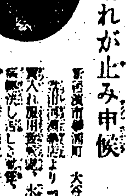
はりきるお肌！

御婦人は身嗜み整容に
男子方はヒゲ剃り後に

お肌はピーンとはりきつて
しらかに美しい健康色が溢れます！

心臓、胸、胃の病に

マレーやスマトラで命がけで採る犀の角やビルマ、雲南高原生の牡鹿の麝香袋、滿洲産の牛黄等は、古來から東洋でも西洋でも効目の高い藥として尊ばれ、日本では武士の救急用印籠藥に珍重され、現代醫界では動物ホルモン藥として賞用されます。この犀角・麝香・牛黄に熊膽・眞珠他數種の精膽を合理的に配伍したのが「救心」で、成分が動物細胞質の爲め消化吸收がよく、スグ内臓に同化されて綜合藥作用を發揮し、病因から手當を加へ、全身の血と抗病ホルモンを増し、心臓や肺、肋膜、胃の惡い方を芯から丈夫な身體に導くので評判です。



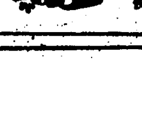
動悸や息切れが止み申候

特殊動物精膽藥「救心」

●心臓の病で苦しむ人
●肋膜や肺のよくない人
●胃弱で食慾の進まぬ人
●寢汗で夜分ね苦しい人
●心臓脚氣で苦しむ人

朝一ス一粒

美本進呈



發賣元 救心本舖

寫眞＝蘭領ニユーギニヤ首都マノクワリの市街風景

敵國のドル箱
皇軍制壓下のニユーギニヤ

三月八日東部ニユーギニヤのサラモア、ラエ方の要衝を占領、英領ニユーギニヤを制壓した皇軍はさらに鋒を轉じて四月十九日西部ニユーギニヤ（蘭領）の北半分を完全に占領、わが領土の一割も大きい全ニユーギニヤの大半を制壓したわけである

◇…◇…

では、ニユーギニヤとはどんな處であらうか…ボルネオ島に次いで世界第二の巨島として知られたこの島も、興味本位な事情紹介以外はあまり知られず、極樂鳥羽搏く魅惑の秘境として、その全貌を閉ざされてゐた

未だ人跡に近い程ど人口の稀薄な點もあつたらうが、門戸を開放しなかつた蘭濠の狡猾な植民政策がさうさせたのだ

恐るべき野蠻人の巣窟として偉大に留保された結果なんとなく踏しまれなかつたこの島は、その實、美しい寶の島であり、無限の寶を秘めた敵國のドル箱であつたのだ

◇…◇…

住民はパプア族と呼ばれてゐるが、パプアとは縮毛の縮れてゐることを意味する、肌は暗黒で鼻が低い、全人口は凡そ七十萬人で一平方キロあたり一人の割合で世界中で最も人口稀薄である

大部分は蠻を知らず狩獵を作ることも知らない石器時代のままで小部落が原始的に分布して生活してゐる

食人種として有名であるが、男系統の及んでゐる限りは跡をたつてゐる、智能が低いだけに迷信が多く、人肉を食べることも迷信から來てゐるわけで、フイジア島民のやうに人肉を常用とするものでない

◇…◇…

産物としては石油、金、ダマル、椰子等であるが、ダマルは塗料として特に名高い、和蘭政府は開發の條件として、甘蔗とゴムの栽培を奨勵したが、兩半における企業状態の二形ともいふべき二つの殺戮が未だ取り、いつまでも可能されるはずはなかつた、從つてニユーギニヤの開拓は將來にあるわけだ

ドイツ統治時代には他國人の入島も自由であつたから、わが同胞の進出も相當あつたが、蘭領後移住者が多かつたため人口は著增しなかつた、英蘭領有になつてから邦人移住者禁止したので漸次減少した、かくて蘭領の植民地政策は世界に向つてその門戸は固く閉ざし、十九世紀の秘境として徒らに寶物を抱いたまゝ白日の下にいつまでも眠つてゐた

ネクタイはミヨシ

なんの二億六千萬圓
全鮮の三割　京畿の貯蓄に新指標

半島に課せられた本年度の貯蓄額九億圓の三割を受持つ京畿道の目標額二億六千一百萬圓を如何にして今年は消化するか、全鮮に範を垂るべき京畿道のこの具體的貯蓄奨勵方策を決定する貯蓄奨勵委員會が廿七日午後一時から道知事第一會議室で山下委員長、委員十八名、幹事廿名出席のうへ開催され、大東亜戰下三百萬道民が一切の消費を節減して最低國民生活に甘んじ目標額の完全消化目ざして進軍すべき新たなる指標が次の如く決められた

國民の時局認識徹底

國民總力運動と緊密な聯繫を保ち部落聯盟、各種聯盟、愛國班などの機構を總動員して大東亜戰爭必勝のための貯蓄なる所以を明かに總力運動を展開し、生活の餘剩を貯蓄するといふ從來の考へ方を一擲し先づ貯蓄をなしての生計を樹てるといふ考へ方を國民各層に徹底させる

勤勞倍加の鼓吹

國民をして勤勞の實を擧げしめ村落方面では特に生産勤勞を鼓吹し貯蓄への意欲を旺盛ならしめ生産勤勞貯蓄を計畫的に強化することに努める

例へば現状の如き副業生産品について生産計畫數量の一割を貯蓄する爲生産を計り部落單位乃至勤勞者に對し大東亜戰爭必勝貯蓄のため特に時間外勤勞をなさしめ、この收入を貯蓄せしめる方途を講ずること

その他指導者及び金融機關の當事者をして貯蓄組合の取扱事務方法などにつき講習會打合會などによつて訓練を行ひ、同時に貯蓄組合事務の簡易化を圖る、また組合員實務の部上の申合せを勵行させ貯蓄の宣傳、愛國班常會を利用して貯蓄推進することとし、國民貯蓄の趣旨は絶對に徹底させる、貯蓄の中途解約就販賣の排擊

制、大東亜戰爭必勝貯蓄目標額（割當額）一口增加々入運動の實施などを強力推進することになつてゐる、なほ地元委員會で決定をみた道内各府郡の割當額は次の通り（單位千圓）

京城二〇〇、〇〇〇▲仁川一三、五〇〇▲開城五、五〇〇▲高陽一、五〇〇▲廣州八〇〇▲楊州一、〇〇〇▲漣川七〇〇▲抱川六〇〇▲加平四〇〇▲楊平八〇〇▲驪州一、一〇〇▲利川一、三〇〇▲龍仁八〇〇▲安城一、三〇〇▲平澤一、一〇〇▲水原三、九〇〇▲始興九〇〇▲富川一、二〇〇▲金浦八〇〇▲江華一、二〇〇▲坡州八〇〇▲長湍八〇〇▲開豐一、〇〇〇、計二四一、〇〇〇一般生命保險二〇、〇〇〇【合計二六一、〇〇〇】

盟邦の武功拔群者に贈る日本刀

【東京電話】昭和刀劍振興會では盟邦獨、伊、泰の武功拔群者に日本武士道の象徴日本刀を贈り國民的敬意を表することゝなり廿七日上野神社で贈呈式により贈呈式を擧行した、オツトドイツ大使、インデルリイタリー大使、デイレツク泰大使、泰駐在武官ピサーン少將をはじめ盟邦武官ら廿八名、來賓として武者小路宗族家親族、主催側山本英輔海軍大將ら八十餘名出席、獨逸の武功拔群者は獨、伊では國境の武功拔群者に贈られるもので席上オツト獨大使は陸軍はロンナル上級大將、海軍はロツケ大佐にそれぞれ贈呈する旨發表したが、泰國はゲーリング元帥の指名者に贈られるはずである

賣切れ僅か八府邑
出足が鈍いぞ、今年初の國債戰

本年度初の大東亜戰爭國債二百萬圓は去る廿三日から全鮮一齊に賣出されてゐるが、前回に比べ賣行しく出足が鈍く賣出し三日目の廿七日迄賣切、消化の府邑は左の通り

	配付高	廿七日迄の消化高	消化割合
京城府	八三七、七〇〇圓	二三九、九六〇圓	二割八六
仁川府	五二、〇〇〇	三四、九九〇	六・七二
開城府	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇・〇〇
清州邑	四、七九〇	五、七九〇	一二・〇八
大田府	一〇、一〇〇	三、〇〇〇	二・九七
群山府	一六、五〇〇	一三、三九〇	八・一一
全州府	七、〇〇〇	—	—
木浦府	一四、〇〇〇	三、八〇〇	二・七一
光州府	一一、五〇〇	一二、〇七〇	一〇・四九
大邱府	四八、一九〇	三七、七〇〇	七・八二
釜山府	六八、二〇〇	二〇、八五〇	[illegible]
馬山府	一四、一七〇	一三、一七〇	八・六六
晋州府	七、八六〇	七、八六〇	一〇・〇〇
海州府	一一、八七〇	一一、八九〇	一〇・〇一
平壤府	八九、一五〇	三九、四五〇	四・四二
鎭南浦府	二一、九六〇	一六、九八〇	七・七三
新義州府	二六、二〇〇	一二、二五〇	四・六七
春川邑	一、五二〇	五、〇二〇	三三・〇二
元山府	三〇、〇〇〇	七、三〇〇	二・四三
咸興府	二九、〇〇〇	二九、〇〇〇	一〇・〇〇
清津府	五四、二〇〇	五四、六三〇	一〇・〇八
羅津府	八、〇〇〇	—	—
城津府	一一、〇〇〇	—	—
計	一、四二四、九一〇	五八八、〇二〇	四・一三

備考　配付高及び消化高は額面金額とす

兄よ許し給へ
眼の邊り、肉親を焼く煙眺めつつ　私情を捨てる衛生兵

【〇〇基地にて近藤特派員發】フイリツピン戰線リンガエン灣正面の部隊に兄は上等兵、弟は衛生兵として出動、戰線で兄と戰つた兄を知りながら黙々として他の兵の手當に專念、兄が茶毘に附されてからはじめて兄の最期に涙し、シツカと兄弟の情を抱いてやつた弟の感激が〇〇基地に報された

〇月〇日まで遂らぬ戰鬪を續と互に勵ましあつて、未明に敢行された敵前上陸に參加したのであつた、激しいリンガエン灣正面部隊の中には、奇しくも揃つて部隊に山本上等兵と肉親の弟 山本一等衛生兵（京城出身）がゐた

「兄さんしつかりやつてくれ」

「弟よ俺は頼んだぞ」

兄の山本上等兵は正面の一線部隊で敵前上陸して部隊上陸の攻撃に參加したが、まだ明けやらぬ空に、重大任務に甲斐々々しく働いてゐたが、

兄の姿は負傷者中には見當らず

「天から天に選ばれる負傷者のうちに兄が見つからぬとすれば兄は戰死したのだらうか？」

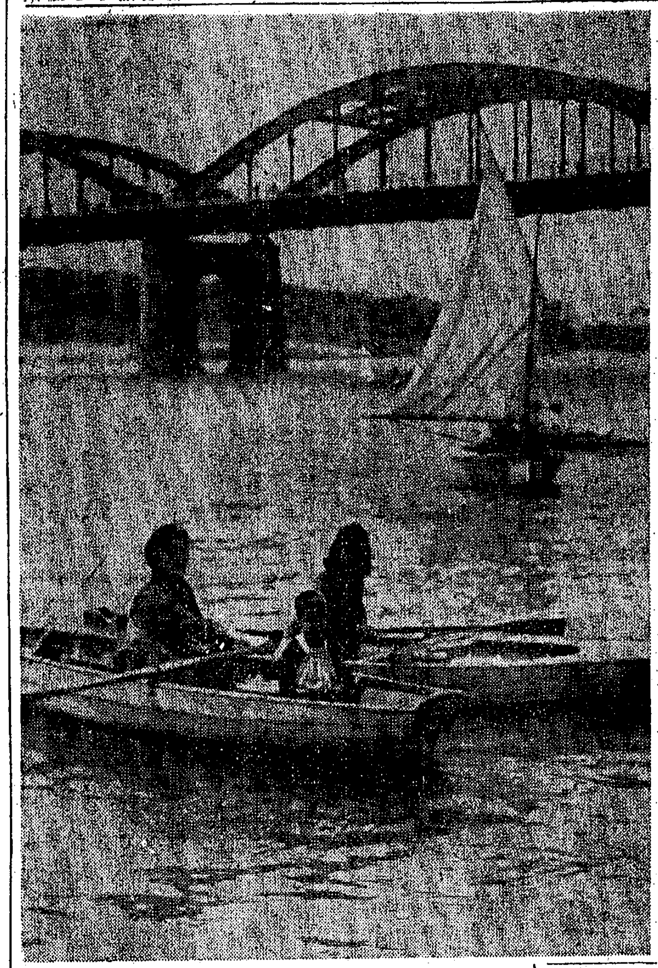
と兄の身を案じつゝも負傷者の手當に專心した、そのうち戰友から兄の壯烈なる戰死を知つたのだつた、人間の情として立派に戰死した兄の死體にとりついて

「兄さん御立派な最期でした、後の方は御心配なく」

とせめて一聲かけてやりたかつたらう、そして出來得ることなら自分の手で茶毘に附してやりたかつたであらうけれど弟は「ここは戰場である」と自分自身にいひ聞かせたのであらう、續々負傷者の收容に奮鬪した、やがて前方二百米の椰子林ではわが兵士の茶毘に附する火煙が淡々と後送を照しヤシ林にクツキリと映じてゐるのが見える、敵ある勇士と共に茶毘に付されてゐる〃兄の姿〃を

如何なる心で見たであらう、弟は黙々として負傷者の手當に懸念がなかつたのであつた、南國の空が白々と明け放れた頃、はじめて弟は今は白骨と化した肉親の兄に對面、シツカと胸に抱いてやつたのであつた

この感激は松原隊の寺内軍曹から感激して語つたことを附記しておく



もう夏の匂ひか

◇…漢江に舟を浮べてそつと水に顔を近づけると、涼の匂ひがする、陽をうける小波の反射にも、もう夏の濃しさがある

◇…廿八日の祝祭日に早い京城の人たちが、三々、五々、舟遊びを楽しんでゐた—

◇…久しぶりでお舟に乗つた可愛い坊やが嬉しくて堪らないやうだ

「坊や、ボート好きかい」と聞いたら「これボートぢやないやい、トクシユ遊覧船だい」と廊下に勇ましく答へた、お母さんの目は、嬉しさに輝いた

【寫眞＝漢江にて撮す】

總督府の天長節拜賀式

大東亜戰爭第一年の天長の佳節のうちに迎へる廿九日天長の佳節に當り總督府では午前九時十分から第一會議室に南總督、大野總監以下勅任官、奏任官、各局長、判任官、雇員、朝鮮軍司令官、中村海軍武官長、同幕僚、同參謀、同副官陸海軍の下に拜賀式を擧行、次いで同十分から判任官一同の拜賀式を擧行、南總督上山總督に萬歳を述べて式を終了、引續き一同大ホールで祝酒を酌み萬歳を奉唱し天長の佳節を祝福

宮城前で最敬禮
學童參拜團、晴れの帝都入り

【東京にて山下特派員發】廿八日午前六時卅分東京驛に到着した朝鮮學童參拜團一行は總督府の渡邊學務課長、直ちにビル街を縫つて二重橋前に行進を起し、朝日に輝き映える宮城前廣場に整列して恐懼心からの最敬禮を行ひ、皇國臣民の誓詞を力一ぱいに唱へた、なほ皇國臣民の前に代表者は京城の國民となることを誓つたのだつた、これより入京第一日の日程に移り、新聞社その他を見學

朝鮮みやげ　ハクチエ藝品

亂暴な學生達

廿七日夜京城府民館で催された京城キリスト教青年會主催の「英と力の夕」は忽ち…

月明下の音樂會
傷兵に親日比人の情

【〇〇基地にて近藤特派員發】バタアン半島の戰鬪のとき親日比島人サンファン・ビヤン町役一家が心から催す月明下で椰子の葉蔭の音樂會は皇軍の傷兵をどれだけ慰めたことであらう村山幸吉上等兵（京城府本町）坂本重一等兵（京城）が交々語る美談と傷病の思ひである

ナチブ山の激戰に負傷した兵は主力と別れて直ちに後送させられてサンファン・ビヤンに移された、ここはバタアン半島の戰線に那から一里、へて早くも治るのを待ち、郷里人は一時のがれたわが家へ歸つて來てゐる、傷兵は郊外の椰子林の中に收容されたが、椰子林の中には一軒の部落の家があつた、その家の前には果物の露店があるので兵隊は時々果物を訪れてゐるうちに一家族の人達と仲よくなつた

主人はサンファン・ビヤンの町長で、かつて日本に行つたことがある、長男は現に日本に留學中で姉妹の娘と一年生のペンといふ少年があり、大の親日家であることが判つた

或る夜町長は兵隊に自分の娘を紹介して歌を歌はせて聞かせてくれ色々な果物を手づからむいて御馳走

それからといふものは椰子林に月光が燦々と照す時刻となり、ギターの踊が神秘な響きをたてるのを合圖のやうに兵隊は松葉杖にすがり、或は手を首に吊して町長の邸へ宴を作つて毎夜毎夜集まるやうになつた、町長は大喜びで迎へた、殊に妹娘のローリーは十四五歳でもあらうか、美しい眼をかがやかせて

「ポンポロ、ガツデ、ポンく」

と素晴らしいアルトを聞かせてくれる町長は娘の美聲が得意らしく紹介すると弟のペン君（一年生）は負けてはゐない、いつの間にか兵隊さんに習つた「愛國行進曲」「兵隊さんよ有難う」「ハトポツポー」など、矢つぎ早に歌つて父を驚かせる、記憶力もいいし、歌も上手だ、町長の名は忘れたが町長は「兵隊さんも歌つて聞かせよ」といふ、そこで兵のノド自慢が出た

その男は村山といひイタリー民謡を專門家について學び相當自信があるもんだからサンタルチヤをやつたところ大したもて方でそれからといふものはローリーは夜になると「ミスタームラヤマ、シングソング」と見つけるまで探してまはるしまつだつた、他の兵、隊をすゝめられるまゝにお國自慢を唄ふもの踊るもの「麦と兵隊」ぶりを發揮したが町長はただ「ジヤパニイズ、ベベラシー」の連發だ

全局員參加
遞信局の健民運動

五月一日から八日まで全鮮一齊に實施される健民運動に遞信局では全局員が參加し遞信局所に各職場と共にこの運動の目的を日常生活に徹底させることゝなつた、期間中「體力の錬成日」を設け國民體操大會を催し、また「保健生活の勵行日」を設けるほか、各職場ではラジオ體操、登山、遠足等を行ひ「保健生活の勵行日」には早寢、早起、適度の睡眠、食事、衣服の清潔保持、住宅の清潔、日光浴等を勵行し健民運動の實踐に邁進するはずで同局々員家族が參加することゝなつた

偽刑事

廿七日夜二時ごろ京城鍾路三丁目路上で卅四五歳位の男が鍾路署の刑事だと稱して置金百餘圓を押收して立ち去つたが間もなく三輪さんが鍾路署に問合はせた結果偽刑事と判明、府内各署に手配中

詐欺

京城府西大門町□□□元明は去月廿日ところ、府内の飲食店を取扱ふ業にかかる數名に對して『酒や米を買つてやるから』と稱し前借五回に亙り三百餘圓を詐取したことが發覺、廿八日西大門署に擧げられた

朝の花　清酒

【最新刊】小説 女の手　舟橋聖一著　B6判 三二四頁 定價一圓六十錢
酒脱なる描寫、豐饒なる興味の中に大東亜戰に重大なる役割を果す「女の手」を活寫する名作

【最新刊】大山元帥　木村毅著　B6判 四二二頁 定價一圓八十錢
傳記文學の第一人者が、大山公の業績と、多年の研究に成る光彩せる名傳記

重版出來　野中兼山　松澤卓郎著　（日本出版文化協會推薦）定價一・五〇　送一五

大日本雄辯會講談社　書店にあり

明朗大東亜は南方の讃歌より
昭南島初だより
南進小原節
東海林太郎
テイチクレコード　七好評

木炭代が半分で濟む
特約店募集
新興炭
御台所の節約
新興商會朝鮮營業所　京城孝悌町三〇　電東⑨二五二番

株式名義書換停止公告

商業登記公告

花柳病專門　皮膚泌尿器科　松野醫院

公示催告

公告

一、事務用平机脇机及同轉椅子
一、重ネ書戸棚
一、朝鮮家具類
一、學校用家具類

右家具ニ對シテハ本年五月一日以降當令ノ等級證紙ノ貼附無キモノノ販賣價格ハ當該品指定販賣價格ノ最低等級ノモノノ半額ト相成可申ニ付該當手持品ニ對シテハ左記ニ依リ本會ノ檢査ヲ受ケラレ度此段及公告候也

昭和十七年四月二十七日

京城府寬勲町一三〇番地ノ四

朝鮮家具商工組合聯合會

父源吉儀豫而京城帝國大學附屬醫院に入院療養中ノ處藥石効なく四月廿八日午前二時五分死亡仕候間茲に生前中の御厚誼を拜謝し此段謹告仕候

追而告別式は四月三十日午後二時自宅に於て相營み可申候

昭和十七年四月廿八日

京城府三坂通一九二ノ四三

嗣子　金丸一桂

親戚

友人　一同

金丸　家御用達　株式會社京城葬儀社　電話本局一五六七・四二二四二番

釜山郊外海雲台　御旅館　ホテル　海雲閣
「ハイヤー」お知らせ下さい　お迎へに參ります

天然と科學の粹とされる……『参茸トニク』が愛用される理由は、皆樣に青春をおみやげするからである。芳香、雅味にして疲勞、虚弱は勿論、健康な方にも其の増進、確保に卓拔なる効力を發揮する……

二五〇瓦 一圓八十錢　五〇〇瓦 五圓　（全國有名藥店及百貨店藥品部に有り）

【適應症】精力減退、腰痛、胃腸、神経衰弱、ヒステリ、心臟衰弱、消化不良、貧血不眠、虚弱體質、一般婦人病、病後衰弱、發育不全小兒、喘息、早老……

神秘的効果を發揮する精力強壯劑

参茸トニク

慈善堂製藥株式會社

Columbia

滿洲建國十週年慶祝映畫　日滿支親善映畫　滿映作品　松竹應援

迎春花

詩・西條八十　曲・古賀政男　李香蘭

（片面）別れ鳥　霧島昇　二葉あき子　（レコード番號一〇〇三九）

コロムビアレコード

培へ仁丹で無病体

時々數粒常用効果は

口中殺菌・病原を防ぎ

胃腸強化・榮養を進め

疲勞恢復・生氣を横溢

頭痛に　胃弱に　腹痛に

常に潑剌の體力を確保

仁丹

花柳病專門　本町　和田醫院

淋疾にコンファミン

疲勞恢復に　三共 SANKYO

オリザニン

本邦唯一の學士院賞に輝く強力ビタミンB劑

オリザニンは疲勞の原因たる體内乳酸の生成を防止すると共に、過剩の乳酸を分解して疲勞の恢復と防止に顯著な效果あることは實驗諸家によつて確認せられてゐる。

（錠）50錠 ¥1.20　（末）30瓦 ¥1.30

（其他大瓶入及び液・エキス・注射液等）

東京市日本橋區室町　三共株式會社
京城府大和町　朝鮮三共株式會社

頭の疲れにネオセドノン

虫下せ！

蛔虫がお腹にゐてはいくら榮養分を取つても しんから丈夫な身體にはなれません。一日も早くこの蛔虫を下して能率低下をふせぎお役にたつ身體になりませう！

（有名藥店にあり）

マクノール錠

大和産業株式會社

敵の焦土作戰衝く
堂々と敵前上陸
戰史に輝くセブ島攻略戰

【□□□□日發同盟】セブ攻略に向ふ陸軍部隊を乘せた○○艦○隻は九日午後五時半ネグロス島南端海岸で陸海の○○艦艇に護衛された陸軍部隊の船團と合し、夕闇迫るボホール水道を北進、翌十日明方目指すセブ島の南端で、西海岸バリリに進む船團の一隊と分れて進めば目指すマクタン島より滾々たる黒煙が三條天を衝いてゐる、オイルタンクに敵が放火したものだ、セブ市東南三千米のアルガオ附近の海岸に陸軍部隊の一船團は悠々沖に碇泊し、艦艇を離れてセブ市を目指すのであつた、あゝ一番船の前方に白煙があがつた、みる〳〵うちに風に靡き海に擴がつて行く、煙幕だ、敵の狼狽が眼にみえる、陸戰隊が前進する、艦艇はあがつてくる煙を繞りつゝわれ〳〵の艦艇はぐん〳〵速力をましてセブ市へ急ぐ

市中の煙は十數條

の岸壁と覺しき邊に眞紅の火焔が見える、命令は一轉となつて進むみ壯絶な光景を呈してゐる、艦艇はカウイ島を左に見て時々砲撃を續けつゝ徐々に進んだ、前の一番船は陸岸へと進路をとつた、上陸部隊の艦上砲が空を劈くやうに響いてゐる、われ〳〵の○○艦艇も一齊に射撃を續け付けたと云つた、敵側からは一發の砲彈もない、陸戰隊の金剛上陸の號令が凛として響きわたつた、時に午前七時、陸戰隊は續々と敵前上陸を敢行したのだ、陸戰隊は直ちに二隊に分れ一隊は北西マルテル街を、一隊は東側モルガ街にさつと殺到して行く、○○部隊が續いて、敵はゐるのかゐないのか、まだ射つて來ない、前方に飛行機の機銃掃射と艦砲から射ち出す大砲の轟音が耳をつんざく、建物にそつて半ば這ひつゝ前進する兵士らの姿が見える、と誰かが大聲で叫んだ、はつと頭を縮めた兵隊さんの姿について側の敵が掘つた壕内に飛込んだ、バリ〳〵と機關銃の音が響く、味方の一齊射撃だ

敵は斷壕内に隱れ

て戰つてくる、前進した主力部隊は刻々とすぎて行くがこのまゝでは進めない、火焔は前方を包んで迫つて來た、味方の後の建物も燃えてくる、空は黒煙に包まれ息苦しくなつてきた、北西に廻つた一隊が敵を前方に追ひ散らして來た、一陣の強風吹きつけ火焔に煽られて、さらに全市を包んだ、敵の戰鬪機が二機頭上の空に舞上つて來た、下が見えないらしい、低空旋回するうちわが下駄履の水上機が一機これに向つた、速度の早い敵機は早くも海上へ飛去つて行く、これを追ふわが機と空中戰を演じたかとみる間に一機はもろくも火焔の尾を曳いて海中に墜落され、他の一機は雲を縫ふて逃げさつた

一方マクダン島に向つた一番船部隊はなんなく同島を占領、倉庫、オイルタンクその他多數の物資を手中に收めカウイ島、コーラル島もわが陸隊によつて占領されたとの快報が齎された

風はさらにつのる

逃げ遲れた支那人住民、教會のスペイン人牧師、スペイン系タバカレラ煙草會社の社員たち六十餘名が陸戰隊員に連れられてぞく〳〵陸戰隊本部に向つて行つた、振返れば市街陸軍本部ジャ・ムロツク・ホテルの高層建物に打立てられた軍艦旗が煙の中にはためいてゐる、記者は最右翼の第一線ノースアメリカ街に驅け込み軒を傳つてマガネヤネス街の商店に進出した、黒煙が一面路をのぞく東へ歩いて行く、全身を煤されてゐるのよりか右へよつたり左へよつたり、どこからか砲彈が一瞬、羽根をのばしきよとんとした目つきで頭を動かしたかと思ふと家の床下へもぐり込んだ

焦土戰術の敵兵は

各家にダイナマイトを仕掛け火は前後から迫る、身體は焦げるやうに熱い、歴史を誇るスペイン時代の城塔も燃え古いスペイン風の建物も燒け落ちてゆく、わが火線の前を敵兵はくゞつて家にもぐり込んでゐるのでこれが轟音を立てて爆破しその度に火勢が煽られ眞赤なトタン屋根が木の葉のやうに舞上る、敵兵も火焔に追はれて後へは逃げれない、もう前には一歩も進めない、突進日の丸の旗を揭げた自動車が前方から疾走して來た、ペサック・スクールに監禁されてゐる邦人救出に向つた陸戰隊の一部が火焔と敵の機銃掃射に包まれて歸つて來たのだ、各隊ともこれ以上前進してゐては猛火に包まれるだけだ「前進」の命令にやむなく海岸に引きさがることにして敵前にひとまづ集結した、かくて午後三時半五時間半に亙る戰鬪の殘した硝煙で十數條の黒煙を後に東部地帶を確保してそれ〳〵第一線についた

墨色の空に置き忘

れたやうに眞赤なまん丸い太陽がぽつんと輝きひとしほ凄惨な戰を點へた、午後五時半陸戰隊は一部をアルガオに殘しさらに船艇でセブ市外五キロのタリサイに上陸進撃してその先頭隊は六時ごろ○○部隊と市の中央部で連絡がついた、明けて十一日朝遂にセブの○○部隊が市を占領した

逃げてゐた住民も

ぞろ〳〵歸つて來るのにプリルトサバーグタコ飛行場を占領した、飛行場は敵機が格納庫十數棟を收容する格納庫、兵舍四棟、士官宿舍五棟、滑走路も立派なもので全く破壞されてなく飛行場の機能を出來る廣大なもので轟ひつくり返つてゐる、ここは市街から數キロ離れてゐるので類火から免れ附近ばかりの市民とか田園風景だ、山に逃げてゐた住民もあちこちに焼けた飛行機がひつくりかへつてゐる

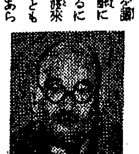
ふ、昨日○○部隊に救出された二百八十名（男子二百三名、婦女子八十名）の邦人のゐるペサック小學校まで六キロの道をスペイン人の運轉する自動車で飛ばした、マニラに次ぐ比島第二の都市ビサヤ地方の商業中心地も市内の七割を燒有に歸し今は全く廢墟の街と化し去つた十三萬の市民は住むに家なく明日から飢ゑねばならない、士民を犠牲にして顧みず焦土戰術非道のアメリカ文明がここでもその正體を見せたのだ、ペサック小學校では邦人が救出された喜びに沸き返へり明朗な笑が校舍に溢れてゐた、すでに邦人男子の大部分は陸戰隊に協力して通譯に宣撫に活躍してゐる状態で大多數のものは永年の間に築きあげた家も財産も失つて全くの無一物となりながらも、新しき出發に張切りかたで「死んだつもりで頑張りますよ」と語つてゐるのも頼もしい、この日の夕飯陸戰隊はラホツクで監禁されてゐたドイツ、スペインなど樞軸國人十數名を救出し感謝を受けた

新西蘭・ソ聯使臣交換

【ベルリン二十七日同盟】デーニスペー通信の傳報によればニュージーランド首相一首相ヒタリー・フレーザーはソ聯との外交代表交換問題を目下研究中である旨つぎの如く發表した

ニュージランド、ソ聯間の外交代表交換問題は目下愼重考究中である、なほ聯合國の共同作戰遂行を助長せしめる提案に對しては懇に考究する用意がある

肥桶車と大衝突
牛の速さで優秀？【上】
機械化國防協會朝鮮本部　三橋濟少將談



三橋少將

無敵皇軍戰車隊の赫々たる勳を讃へ、五月一日全國に魁けて京城に設けられた戰車記念日を迎へるに當り、大正七年我國に戰車が渡來してから、戰車と共に歩み、ともに苦勞して皇軍戰車隊を今日あらしめた機械化國防協會朝鮮本部次長三橋少將に戰車發達史を訊かう

初めて我國に戰車が渡來したのは大正七年であつた、私は其翌年から昭和七年迄の十三年間英國と我國の戰車の黎明時代に身を置き、更に機械化時代に入らんとする迄その動向の跡をその間追つて來たのである。今當時を回顧して心靜かに往時を辿りつゝ數々の思ひ出を語るのも亦感慨深きものがある

自動車隊での思出

歐洲大戰の終つた翌年、大正八年に大戰における戰車の價値が世界各國に認められ、我國においてもこれが研究に着手することになつた。當時大尉の私は歩兵學校の研究部に勤務してゐたが自動車に關する研究調査の爲歩兵自動車隊に派遣された、その時輸入されたのは英國の中型A戰車（一名ホイペツト）で、これは歐洲大戰末期に出て來た十六トン位でその速度は馬の速歩程度で一時間十二キロといふがとてもその速度で一時間は動ひもよらぬものであつた、然し戰車の四號型戰車を初めて機械化したのである、この戰車は今日我國の國防上の兵器には比すべくもないが當時にはグロテスクな姿を呈してうづくまつてゐるが、重量は約三十トン重戰車に屬するもので、其装備は極めて貧弱なものであつた、又其の速度は牛の歩ける位で而も少し長く動かすと過熱して動かないし故障は續出するといふ始末であつた、その外に輸入したのは英國製中型A戰車（一名ホイペツト）で、これは歐洲大戰末期に出て來た

この戰車は歐洲戰線當時ではその形態さへ誇つたものであり、又威嚴があつたから確かに戰鬪の勇士ではあつたに違ひない

驚くばかりの進步

其頃から見ると現在の戰車は丸で別種の兵器を見る程の進步で、輕量と自動小銃位の差があるといつては、自動車の速さに近迫して速度は牛や馬の歩さから雲泥の差である。外が見えにくくて兎と言つた有樣で眼が開いて來た、で其あつた無線等により耳が聽えて來た、其の七艘備の武器も優秀となり、又中に居ると中も涼しく、やり切れなかつたのが樂氣がよくなつた

その外水陸兩用とか、飛行戰車とか、潛水戰車等も出來て來た、その中には河を渡り、水を潛り、空に舞ひ上る戰車の現出も遠い將來ではあるまい、實に驚くの外によくもこの位に進步したものだと驚かざるを得ない

勿論此間戰車隊の發達に就ても亦驚くべきものがある

ので、戰車の技術的進步も益々必要であると共に用法においても大いに研究訓練を要するものがある、自動車にでは自動車の操縱が非常に難しく戰車の操縱では私が最初操縱中に殊に重要であつた、元來人間が乘ると歩く出來てゐるので、どうも瞬間の命令に對して手足が直に聽いて呉れないらしい

そのために時には肥桶を積んだ荷車が邪道の眞中にひつくり返したり、時には急カーブの所で道端の溝に突き落ちたりして或は橋の欄干をへし折つたりして

肥桶を積んだ荷車にぶつかつて大道に糞尿の大洪水を作つたものもある、又夜間の戰車演習で道路外に飛び出し、戰車のあつて溝へ突込んで、一寸先の小川の寸前に急停止をして三斗の溜水を頭から浴びた程恐縮した事もある

この時だけは私も肚の底に冷汗を流して二晩來めて自室で沐浴の祝をした

不連續線

その一瞬

滿員電車の中で、どとかの赤ん坊がギャアギャアと泣く。さうでなくてさへ、いらくしてゐる乘客の神經は、まづくと尖つて來る。

「や、いけねえ。小便をかけられちやつたぜ」

その赤ん坊の泣聲の近くで、誰かの頓狂な聲がすると、どの乘客もそちらへ顏を向けた。

「ひでえよ、小便をする赤ん坊なんかを連れて乘つてさ」くすくすと笑ひ聲が漏れてゐたが、今度は、こちらの方で誰かゞ小さく呟いた。

「赤ん坊だつて小便もするさ」また、忍び笑ひが起つた。それで、乘客の神經は一應ほぐれた。

本社寄託献金　廿七日扱

國防献金　陸軍

二百圓　京城府本町四ノ七二　佐中　秋良

百圓　京城府初音町一八八　中秋良

二十二圓六十八錢　全北任實郡南原……

總計金九十二萬七千百九十五圓十三錢也

水力電氣工事職員代表……十圓……、同……生一同……仁川府……女子同窓……十二圓……京城府……九十六錢……【累計金】三百四十七圓六十四錢也、【累計金】七十三萬七千四百四十一圓七十七錢也

皇軍慰問金

【累計金】十七萬七千○○四圓十三錢也

監視隊

【累計金】一萬六千二百七十八圓十錢也

九軍神顯彰金

【累計金】二千四百七十圓十三錢也

東日州壇　春季雑詠　高濱虚子選

全州　井上要子
春めけるもの一ひとつに窓の月

同　菅原　泥二
ケ枝に蠅遊ひ茨ぬるむ

群山　内田　五鳳
夜に入りて流水の音豐かなる

同　秋　鳳洞
彩夢の唄ひ春水ひろ〴〵と

平壤　惡福　一村
姿寫の碑の出て步きをり朝霞

同　久保　笑女
大國原立つことうれ〴〵今日和

春川　宮崎　楚川
朝鮮に住み老ゆ父母に菜摘す

同　松井　蕉古
春寒や小屯たることに二十年

海州　雨水　幽林
水溫む岩にふれゆく浮瀨花

同　花田　秋去
春の水一枚岩をかけ渡し

咸悦　吉田　雅子
牙國に今日降る雨のつめたさよ

アトラクションの上演禁止

五月一日から興行場の『アトラクション』は演劇の新體制一元化に伴つて映畫館の新體制が要請され從來濫立を極めてゐたアトラクションが可成りの制限を加へられることが豫想されてゐたが今般の映畫館合同の途中で映畫館としてそれを斷行することになり、また同文化局京城興行協會でも今後一切アトラクションの上演禁止を申合せた、但し實演一本立興行の場合は時節がら一ケ月一回（七日間以内）二番館一ケ月二回（十日間以内）に限つて差支へないといふことになつてゐる

放送番組

★明治座、若草劇（五月一日から七日まで）◆東寶作品「待つてゐた男」長谷川一夫、山田五十鈴主演

★城寶、京劇（五月一日から十日まで）◆大映作品、山本嘉次郎監督作品「ハワイ・マレー沖海戰」……「五列の恐怖」

文化だより

◇大和田□二氏（洋畫家）廿八日午後四時五十五分京城驛發新京へ

新刊紹介

▲國民詩歌（四月號）論文三篇を卷頭に短歌及び詩作品を盛り今月は特に「詩人の言葉」に面目を見る（五十錢・京城光熙町一ノ八二、國民詩歌發行所）

▲國民文學（四月號）若き世代に關ふる者（松月秀雄）詩の純粹性について（佐藤清）文人勞働報國のほか山田榮光、鄭人澤、木山捷平、南木次等の創作を掲載、國語版である（七十錢、京城・光化門通二一〇人文社）

文化

大和魂の發展（2）
宮澤千代作

永田水甫氏筆

大和魂乃至大和心といふ名稱がかりそめにも現はれたのは、平安朝時代になつてからである。就中その最も先驅をなしたものに、『源氏物語』少女の卷に、紫式部の心得について種々述べてゐる所で

なほ才をもととしてこそ、やまとだましひの世にもちゐらるゝかたもつようはべらめ。云々。とある。次に和歌では、『後拾遺集』の雑部に

はかなくも思ひけるかなちもなくて博士の家の乳母をせんとは　赤染衞門

さもあらばあれやまと心しかしこくばほそちにつけて有らすばかりぞ　大江匡衡

とあるのが最初である。これは問答歌で、乳に智をかけて夫が諸君をもつて呼びかけたのに對して、妻がやまと心を應げて答へたものである。

以上の大和魂や大和心は漢才に對しての和魂であつて、わが國固有の學問知識を基礎とした才能を意味してゐる。この例は『今鏡』、『古事談』中にも見えてゐる。

それが「大鏡」中に

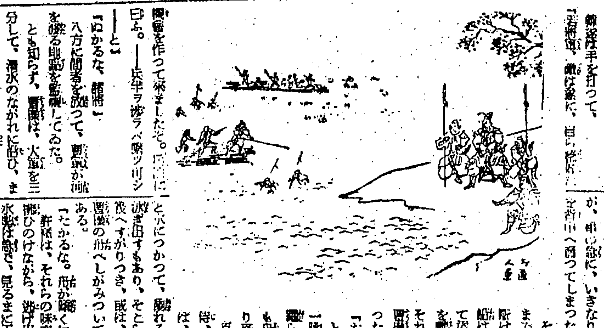
月やの本末を知り給はねばいかがとおぼしけれど、大和心賢くおはする人にて……云々

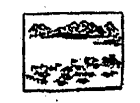
とあり、『今昔物語』二十九にも

才はいみじかりけれど、つゆ和魂なかりける者にて……云云

とある内容から推して、これは大和民族特有の心根をさしてゐて、精神としての方へ一歩入つたものと思はれる。

三國志【788】
（赤壁の卷）
吉川英治（作）
矢野橋村（畫）





渭水を挾んで（三）

みな顏を見あはせた。ひとり徐晃は進んで、忌憚なく答へた。

「この度、渭水の敵と睨みあひしてゐたら、一年たつても勝敗は決しますまい。それがしが考へるには、渭水の上流下流は、さしもの敵も手薄でせうから、一手は河の西へ渡り、また水の北を一手は渭のへ迂回して挾撃を斷ち、敵が前後を顧みるに暇なく、陣を亂して撃へられれば、敵は崩れませうから、一擧に大勝を收めること疑ひなしと存ずる。願はくば許しを得たい」

「徐晃の議は大いに良い」曹操は賞めて、

「では今、汝に四千の兵を與へるから、朱靈を大將とし、それと共に河の西を渡り、谿谷に潛んで、予の合圖を待て。予一手も直に、渭水の北を渡つて呼應の策を行ふであらう」

と、朱靈に手筈を授けた。

それから間もなく、西涼の探聞は、渭水の手前へ、すぐ早耳を運んだ。

「曹操の方は、船筏を作つて、渡河の準備をしてゐます」と、いふ情報が入つた。

韓遂は手を打つて、

「若將軍、曹は急に、何か策略をめぐらしてゐるに違ひない。この方より……」

が。

そして曹操はまづ一手を上流の北から渡して、その先頭が見えると、

「それッ」

と叫んで、一斉に身を躍らせ、危くも船の中へ乘り移つた。

許褚は、一文の浮木から飛び出したが、それを許褚は持つて曹操を背に乘せた。

――兵半ヲ渉ラバ擊ツベシ――と曰ふ。

「ぬかるな、韓遂」

と、水際に床几を据ゑながら、渡河の成功を見とどけ、

「まづ、首尾はよささうだ」

と、一手を上流の北から渡して、その間に疾風を作つて、渭水の流れに添ひ、また……

一方曹操は、すでに渡を指揮して、

「上陸した味方は、すでに陣地を構へて、敵を待ちかまへてゐます」

すると、第二、第三とついで來る敵の中から、

「今、西の方から、敵とも味方とも分らぬ一隊が、馬蹄をあげて見えて來ます」

と、第五番目の報に、

「渭河の方へは敵をば一騎も入らせてはなりません」

と、喚き立て、

許褚は、それらの味方を、押しのけながら、逃げ出したが、

「のがすな」

「あれこそ、曹操」

西涼の兵は、弓を揃へて、矢の雨を注いだ。許褚は、片手に馬の鞍を持ち、片手に船の梶を握つて、曹操の身をかばつてゐた。

「ああ」と叫んで、それらの小舟や筏へすがりつき、或は、見境なく曹操の舟へしがみついて來るのもある。

許褚は、それらの味方を、押しのけながら、逃げ出したが、水勢は急で、見る〳〵うちに下流へ押し流されて行く。

「おりッ」

と叫んで、一躍びに身を躍らせ、危くも船の中へ乘り移つた。

と、眼の前の敵の兵は、首尾より弓を引き、

「すは、一大事」

と、許褚は舳に躍り上つて、曹操のところまで迫つてきた。

そのとき彼方の馬超は早くも追ひ迫つて、曹操をつゝみ、一兵を殘すまでと、遁走を遂げさせぬ、西涼の八健將など、矢を射、石を投げ、百歩のところまで迫つてゐた。

「曹操に違ひない、何程のことかあらう。一騎も逃がすな」

「馬超が來たとて、何程のことがあらう」と、自若としてゐたが、

とところへ、許褚が頭を出して、床几から起たうともしない。

「ここに曹操あり」

と、のみで床几から起たうともしない。

「丞相丞相。敵は早くも、味方の後を衝いて、早くお船へお移り下さい」

と、呼ばはつた。

「馬超ではないか」

と、騷ぎ立つたが、

曹操は、聞くなり、人々は騷ぎ立つたが、

その時、大軍は河を渡りつくして、曹操のまはりには、わづか百人ばかりしかなかつた。

と、狼狽していふ。

どこを渡つて來たか、敵襲です。――いや、うしろの方から潮寄せて來ます。

乳兒にわかもと
消化不良を豫防し、整腸、發育を助ける

◎あらゆる皮膚病に百發百中のスカザルを知るか！（家庭常備）

胃腸のわるい方に好評　トモサンの吸著療法！（一圓五〇錢・三圓七〇錢・藥店にあり）

斷食　先づ『健康』が第一だ　早川斷食寮　京城宗□天安本□

◎如何なる藥でもなほらぬ淋病は！トリミドでなほせ！（急性・四圓五〇錢・慢性・九圓五〇錢）振替京城一〇六七番　三龍製藥社　京城寶町130

文部省選定
鑑賞音盤
國民學校藝能科音樂
國民學校・御家庭の鑑賞用として

初等科一學年用　君が代行進曲・森の鍛冶屋他　郭公ワルツ五曲　小鳥屋の店　國際急行列車
初等科二學年用　響のカール王行進曲他　軍艦行進曲四曲　人形の行進曲　森の狩獵（上・下）
範唱音盤　一學年用　二學年用　ウタノホン（上）　うたのほん（下）
聽覺訓練用音盤　一・二學年用
（各五枚宛）
ビクターレコード

面白い女性ホルモンの話

★ホルモンと云へば何だか不老長壽の元素か若返りの妙藥の樣に思はれて居るのですが、云ふ意味に用ひられてゐるのですが、なかには不老長壽や若返りどころか、それとは全く反對の人三化七的な人間を作り上げる妙なホルモンもあります。腦下垂體ホルモンを飲み過ぎた時には耳や鼻や手足が異常に發育する末端巨大症と云ふ病氣になるばかりか、時には骨が六尺になり二階に手の届く樣な巨人が出來上ります。また甲狀腺ホルモンを過剩に取りたとしますと眼玉が兎の眼の樣に前方に飛び出して眠る間も瞼が閉ぢないと云ふやうな結果になります。けれどもこんなことは若返りに關係のないホルモンは一般に餘り知られてゐません。

★さて、ホルモンには斯んな面白いホルモンをはじめ若返りホルモンに至るまで二十種類程もあるのですが、女性になくてはならぬのは卵巣ホルモンです。女性の美しさや魅力を作るのも、女としての大事な役目である姙娠の働きも、

說明書進呈

麗しい美しさや艶姿や若さや魅力を作るのもこの卵巢ホルモンが司る神秘微妙な作用に依るものです。

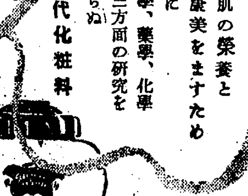
★卵巢ホルモンはこれ程女性に大切なものですから卵巢に故障が起るとか又は卵巢の發育が惡くて血液中に送り出すホルモンの量が少いと、頭痛、肩凝り、めまひ、耳鳴、腰下腹痛、冷え込み、月經不順などの不快症状が起つて來ます。そして顏へはシミやソバカス、吹出物が出來、遂に手足しみて見る影も無い女性美は台無しになります。更に症状が進化しますと不姙症や不感症、ヒステリーなどに陥ります。

★ですから斯うした婦人病を治療するには病原の治療と同時にホルモンの補充を圖ることが絶對に必要です。現に帝大病院婦人科使用の文化婦人藥ワセトン錠は醫學的にも婦人病の治療をすると同時に、女性ホルモンを補充しホルモン腺の働きを活潑にするやう仕組まれた理想的な婦人藥です。ですから一日二錠の手輕な服用により卵巢は健やかに甦り、新陳代謝は高まり、ホルモンは正常に戻つて全身に作用しますから、頭痛、腰下腹痛も取れ、肌も生々と若返つて見えるやうになりますので御使用の女性の方は例外なく若さ、美しさの喜びを十分からも大喜びされてゐます。

（一個二十錠一圓三十錢、送料十五錢です。病院用三圓の分も薬店にお頒けします。姙婦の爲め薬店で品切れの時は郵便代理店京城並に各地の御注文も歡迎します。藥局店へ直接カワセで御申込み下さい）

虚弱　腎精・肺病質の肝臓療法劑として　特に胃腸衰弱者の服用に推奨さる
補血強壯・肝臟製劑
オネオ肝精　粉末・錠劑

オリザリナール　クリーム
お肌の榮養と健康美をますため常に醫學、藥學、化學の三方面の研究を怠らぬ近代化粧料



東京・日本橋　安藤井筒堂

法人登記公告

○日本□□株式會社□□□□……昭和十七年……京城地方法院
○□□□□……昭和十七年四月九日……京城地方法院
○□□□□……昭和十七年四月□□日……京城地方法院水原支廳

ふしぎるひつくやうな美貌の女間諜！ZY七號とは何者か？？

オ五ゾーのゼ嗚呼

轟夕起子

地下に潛る正體不明の第五列！爆走する列車の行方は？逃げ去る女間諜の正體は何か？凄愴な火華散るスパイ擊滅戰の成果は？全篇手に汗握る戰慄と恐怖の連續！

待望の戰慄篇　一日封切

同時封切　朝鮮映畫社提供　社團法人朝鮮映畫配給社

京城寶塚劇場
京城劇場

●頭の痛みと疲れにノーシン●

映畫新體制第一回（社團法人映畫配給社紅系）

不氣味さとほゝゑましさ　おぼろ夜の怪事件

長谷川一夫　山田五十鈴　エノケン

待つて居た男

マキノ正博演出

五月一日同時封切　紅系

東寶若草劇
明治座

東宝

石油事業の再編要請

經濟祭

◇……戰爭の如く石油が重要な物資となつた[illegible]……十四年に石油共同販賣が行はれ、更に昨十六年に石油の配給統制が行はれることになつた。……南方油田地の獲得によつて一時的に石油の問題が解消されたかのやうな觀を呈してゐるが、かくて更に半島の石油事業の再編成が要請されてゐる

◇……既に今日大東亞ブロック、日滿ブロックの自給が決定した……石油業界の全面的再編成を斷行しなければならない……

◇……一般に根本問題としては石油のもつ重大性に鑑み、[illegible]

麥嶺期の半島
食糧需給完璧
五月分 滿洲雜穀の輸入決定

滿洲國より朝鮮への雜穀輸入については……朝鮮、滿洲國の間に折衝が進められてゐたが、この程五月分の輸入量を決定した……總量四十萬石……

麥嶺期に於ける需給は極めて圓滑なものとなつた

中樞委員會幹事會

表彰狀

株式會社日本製鋼所……

表彰狀

日本高周波重工業株式會社……

要は運用の妙
金融統制會への期待大
君島鮮銀副總裁入城

君島鮮銀副總裁は二十七日……入城したが大要次の如く語る【寫眞は君島氏】

◇金融統制會の設立……

◇金融統制會と南方開發……

◇南方開發と資金問題……

不斷の努力を搞ひ
軍需工場を表彰
陸軍兵器本部でけふ三社を

【京城電話】陸軍兵器本部では……

表彰狀

三菱電工業株式會社……

三一二割方引上げ
銑鐵販賣價格決定

綿織元卸組合總會

貿易振興總會 今期は無配

織物協會總會
功勞者を表彰

株式（廿八日）

[illegible]

大株短期（廿八日）

[illegible]

商品（廿八日）

[illegible]

金融

[illegible]

現株仲値（廿八日十一時調）

[illegible]

株式 賣飽き氣味 上向く

前場　歐洲における獨ソ戰線の……

後場【堅調】……

實物　堅調

[illegible]

照明彈

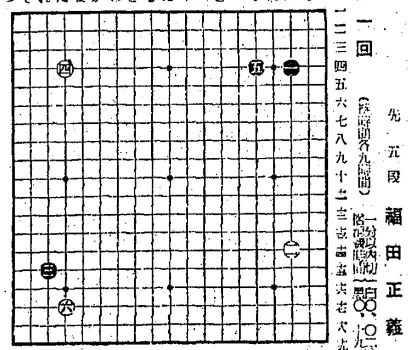
公社債・株式・賣買・引受業務
事變公債
貯蓄報國
川島屋證券京城支店
黄金町二丁目

生糸 伸惱む

七段陣對五六段陣 對抗大棋戰

七段 小野田千代太郎
先 五段 福田正義

第一回



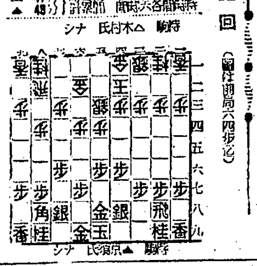
超目ハヅシ　解說 七段 橋本宇太郎

名人指導將棋

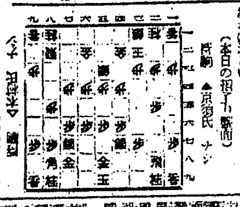
本社選棋

第二回

角落　名人 木村義雄
三段 京須行男



木村名人講評



時局御用品
國債の消化
出産のお祝に
結婚のお祝に
御披露に
團體の
記念品に
休戰包裝にお用ひ下さい
秋田證券債券部
東京府明治町二丁目
電話本局五一五五
振替京城一三二四

大東亞聖戰下 中支の展望

上海の卷（四）

藥業界の霸王

大華藥品公司

總力協進へ大役

磯崎愛吉氏

青年商士

金正淳氏

立志傳中の一人

鄭燦昇氏

實行の士

朝海水龍氏

洋服界の王座

安田眞國氏

豪勢な活躍

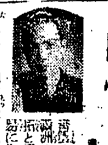
桂秀雄氏

義熱の先輩

天野高名氏

明快な青年活動家

中村傳次氏



隆盛一路

韓奎泳氏

典型的實行家

樋本一郎氏

百萬巨商

崔泳澤氏

篤實なる事業家

閔泳升氏

紳商

李春泰氏

公示催告

[illegible]

皮膚泌尿 性病科
醫學博士 渡邊晉
電本894

短期 現株
内海清藏商店
京城明治町

東亞證券
朝取一般取引員

大原證券

騰勢愈々本格化
増資接近株 絶好投資期
『市況速報』呈

證券 報國
二田原商店
朝取一般取引員
京城府黄金町二
電話⑤一五七〇

治淋特效
伸ばせ国力! 滅ぼせ頑菌!
進め貫け英米に最後のとどめ刺す日まで!
淋菌ほどしつこくて頑固なるものはありません！治療を疏忽にすると一時は治つた樣で直ぐ再發して段々悪性へと傾いて行きますだから絶對なる信用と効果のある良藥を求め一日も早く淋菌を根源的に撲滅することです！
ギユーサイド
包裝24錠
發賣元 柳韓洋行

家庭でも職場でも健康で御奉公
毎日一－二球
權威ある 財團法人 理化學研究所の製品
世界十一ケ國製法特許によつて抽出された純粹で高單位（一球中A五千國際單位・D一千國際單位）のビタミンA・Dを卵黄とバターに溶し砂糖で包んだ嚙んで服用の出來る權威ある榮養劑です。
SUGAR COATED KEN VITAMIN
糖衣 理研ビタミン球
一－二月量（六〇球）二圓五〇錢
總代理店 株式會社 玉置商店